第三千七百三十五號 （一）
（明治三十九年四月十五日第三種郵便物認可）
THE KEIJO NIPPO
大正七年二月十四日
（年中無休刊）

京城日報

十三日夕刊
（朝夕刊併せて八頁）

發行所 京城太平町通一丁目 京城日報社

第四十回帝國議會（東京特電）

衆議院（十二日）

▲本會議（前刊より續く）

▽高木益太郎氏（國民）談 契約は憲法第六十四條會計法第一條第二十四條に違反せずや鋼片拂下問題に關する懇談會の內容如何

▽仲小路農相 此の契約の成立したる前後の事情は豫算委員會にて說明せり豫算委員會に於ける警告は相當なりと信ず當局は相當の前後策を講ずべく鋼の最も不足せる今日一會社に一年三萬噸を拂下ぐるは當を失す各種の會社各種の事業に至當に分配さるゝを至當と信ず此際此契約を廢棄し制限するも利權を侵害し經濟社會を擾亂するものにあらずと信ず

▽山本悌次郎氏（政友） 仲小路農相は此契約を不當なりと云ふが押川長官は今日も亦正當なりと信ずるや

▽押川長官 當時より適當と信じ今日も亦不當なりとは信せず

▽早速整爾氏（憲政） 農相は之れを不當と聲明し押川長官は正當なりと言明す這は政府の不統一にあらざるか又拂下の本契約を成したる當局者は何人なるか其責任者は仲小路農相にあらざるかと呼ぶや議場漸く騷然となる

▽仲小路農相 國務大臣が責任を以て明白する以上政府は不統一に非ず又本契約の決濟は大正六年に至り成せりと云ふも是れ前の決濟に基づき押川長官の成せし處なりと說明す、時に議場喧囂

▽早速整爾氏（憲政） 本契約を成したるは昨年の八月二十日頃にして米國の鐵鐵問題の發生は同月七日なり隨つて本契約を成す迄には相當の考慮を要すの餘地あり本契約の締結者は誰人なりや

▽仲小路農相 右は假契約を履行したるに止るものにして且にて自體決定し本契約は單に是れ本問題は米鐵輸出禁止の際初めて諒知せるものにて本大臣の責任は之れに對する今後の處置如何にあるのみ

と云ふや憲政會側より罵聲大いに起り政友會側亦是れに應じ罵聲は宛然蜂の巢を毀せるが如し此時一亂漢傍聽席より議場に對し罵聲を放ばし守衞に退場せしめられたり大岡議長憲政會の修正理由を述べしむべく早速整爾氏を招きて漸く議場鎭靜す

▽早速整爾氏 登壇 憲政會の修正案に付き說明せる後減債基金二千萬圓有餘に就ては政府は種々の理由を付け强辯しをるも本員は臨時事件費の財源を本基金に依り補塡せば將來緩急ある場合も財政に餘裕を生じて其基礎を鞏固ならしむるを得べしと述べ次で

▽鈴木梅四郎氏（國民）登壇 國民黨の修正意見を紹介して曰く國防の充實は我黨多年の主張なり故に今回の計畫は唯不徹底不充分なりとは云へ是れを認めざるべからず然し政府は政友會等の反對に依りて社會政策的施設たる減稅を遂行する能はざるは遺憾なり故に政府は次の財政計畫を立つるに當りて根本的稅制整理を成すと同時に社會政策上適當の施設を成さんことを警告すと更に馬場救濟問題に關し種々論述し政友會の諸君も他の諸君も社會政策に關しては無智無學にして極めて冷淡なりと口を滑らすや政友會より『懲罰！懲罰！』の聲起り大岡議長亦注意する處ありしに鈴木氏は『本員は斯かる批評を受くるも市評なかるべし』と云ひたる而已と巧に逃げ進んで社會政策の講釋を成し千八百七十四年鐵血宰相ビスマークが社會政策を實行せるに非ずやと云ふや

▽古谷久綱氏（政友） 千八百七十四年頃ビスマークが社會政策を實行せしと云ふは其れこそ無學の甚しきものにあらずやと皮肉りたれば此の時場內隅々に笑聲起る、鈴木氏は降壇するや三木武吉氏（憲政）議事進行に關し發言を求め

▽三木武吉氏（憲政） 本員は政府に向つて臨時首相代理は何時決定し又何人が代理者たるかを問はんとす政府委員すら新に任命する場合は官報に記載し又議場に報告するにも不拘臨時首相代理を政府報告せざるか苟も勅命を奉ずるが如きは極めて重大事なりとの詰問を發せしに

▽後藤內相 本大臣は勅命を奉じたりとは申さず唯首相事故ある時は首席大臣便宜其任に當ること閣議にて決定せるだけなり故に官報等にて公布する必要なしと答へ再び豫算案討議に入り

▽床次竹二郎氏（政友） 本員は委員長の報告に贊成するものなり本豫算は國防費を主として其他の重なるものは製鐵所擴張費及び教育費補助費に過ぎず故に大體に於て前年度豫算と異なることなし今回國防問題に付きて言はんに陸軍は二十一個師團は今回の計畫に於て充實せるものなれば此充實を爲して次の擴張計畫の前提と成さすと答へたり今回の歐洲戰亂の實驗に鑑み兵器の改良等諸般の方面に於て大いに之を爲さゞるべからざるものあり、彼の道路能力等に就いても政府が官民工場の設備を圖りて其の能力を增進し思ふが儘に其の施設を全からしめ以て國防の充實を圖らざるべからず此の事に關しては先に我黨より委員會にて希望を述べ政府亦其の希望を容るゝ旨言明せるを以て甚く政府の言明に信賴せんとす、教育の完全に關しては教育費の補助の如きは機宜に適せるものなり、吾人は更に教育制度の根本的改善を實行し事務に適するが如き施設を希望するものなり尙ほ產業の發展を圖る必要上交通運輸機關の完全を希望するものなり殊に海陸運輸の連絡は戰時中は勿論戰後の施設として最も必要なれば政府當局は此點に充分注意せられ度し終りに臨み國民黨は我黨が通行稅廢止に反對したるを以て政府の社會政策に反對せる如く云ふも吾人は未だ政府より社會政策なるものを聞かず乍去若し政府にして社會政策的施設を爲さんとせば他に何ほ多くの方策あるべし唯だ通行稅廢止反對のみを以て社會政策に反對すると云ふが如きは畢竟近眼者流の言而已鈴木君は『吾黨を無學無智なりと批評する者あり』と云ふも社會は斯かる無智無學には非ざるなりと吾黨の爲めに如何に痛快の大氣焰を吐き政友會側拍手の裡に降壇せり（此間不明）政府は國防計畫を主眼として豫算を編成せるも海軍豫算の杜撰なる吾人の贊成し能はざるところなり政府は七年度より八四艦隊二艦隊の建造を提出せしが經常費とも云ふべき補充費すら計上しをらず斯くの如くにして果して八四艦隊を維持し得べしとなすか政友會の諸君は政府が自然收入を過大に見積り居るに鑑みて財政を憂慮するに足らずとなせど物價騰貴の趨勢は樂觀を許さゞるべし殊に本案に對する議會の形勢を自ら至らざるなく其計畫の大半を破壞されて何等責めに任ずるの處なきは何の狀ぞやと述べて降壇すれば

▽福田辰五郎氏（國民） 本員は委員長の報告に贊成せんとす

今回の豫算計畫は國防充實、教育改善、產業發展を主眼とせるが是れ何れの內閣も標榜して未だ實行を全くし得ざることに屬す然るに現內閣が茲に留意したるは吾人の大に喜ぶところなり唯國防計畫に於て足らざるを憾みとするも先づ此程度を以て滿足するも四圍の事情已むを得ざるべし

▽齋藤珪次氏（政友）登壇 早速整爾君の所論は徒らに大言壯語して自快とする而已其修正意見に就ては何等說明するところなし蓋し是れを云ふ能はざるたらん憲政會側の四千萬圓減額なるものは實際に於て三百萬圓に過ぎざれば其理由を此壇場に披瀝し能はざるならん早速君は將來の計畫に付きて不安心を叫ぶも第三十七議會に於て武富藏相が僅かに八四計畫に手を染めたるのみにして將來に言及する能はざりしに十四年度計畫に二十一億幾萬圓の計畫を示せる勝田藏相の計畫は數段の出來榮にあらずや又鈴木君は千八百七十四年にビスマークが社會政策を實行せりとて謬論を示されたるも同年はビスマークの生れし翌年にあらずやと揶揄し盛に政友會の喝采を浴びて降壇す（以下朝刊へ續く）

◎獨小露講和條約

伯林政府と小露西亞間の講和條約要項左の如し（アムステルダム電報）

一、墺匈國と小露西亞との境界は戰前の狀態に復することを決定するも北部に於ては臨時境界線を決定し兩國の委員に依りて限定せらるべし
二、占領地の軍隊撤退は條約批准後直ちに開始さる
三、兩國の委員は相互に戰費の賠償を得ず損害の賠償を放棄す
四、捕虜は歸化を許可さる
五、兩國は直ちに經濟的關係を保つべし

◎獨對露攻勢決定

獨逸は露國に對し近々攻勢を執る事に決定せり（倫敦電報）

◎露兩將軍の不和

アレキシエーフ、カレジン兩將軍の間に紛擾起りアレキシエーフ將軍は過激派討伐の目的を以て北上せしもカレジン將軍は行衞不明なり（倫敦電報）

◉撫順炭價調節問題

總督府の交涉と滿鐵の態度

朝鮮に於ける撫順炭價の調節問題に幾許か關涉を有せりと見られ居る滿鐵鑛業部の京城販賣所主任谷川善次郎氏は十二日夜著任せしが其の談に曰く『實はまだ著いた許りで久保理事にもお目にかゝつてゐないし

▲朝鮮の事情 には疎いし今後撫順炭の朝鮮供給をいかにし又幾許の値下をなすかと云ふやうな重要な方針に就ては全く私はお話しをする資格を有たない唯私は從來本社の販賣課にゐて朝鮮側から來た炭價引下の要求や陳情やは一通り承知してゐましたが右に對し本社の方針は重役の意中なども存ぜぬけれど今日迄事實に於て引下げをやらなかつた所で最近朝鮮總督府の方から關東都督府を通じて炭價の調節に關する要望が會社に來たのです、何分朝鮮に於ける撫順炭の需要は近年非常な增加で朝鮮は重要なお得意先である其の市場を統べてゐられる

▲最高官廳 から炭價引下の交涉があり又首都の會議所から同樣の陳情が來たのであるから本社の幹部では十日頃から諸種協議を重ねた結果十三四日中に總督府に對し返書を出す筈です其の內容は本社の發表するまでは私の口からは云へませんが或は何等かの色を附ける事となるかも分りません但し滿鐵で平素から相當な貯炭場を設ける事は既定の問題で豫算も決定してゐるから近く著手し得らると思ふ又今後朝鮮各地の需要炭に對する要望は十分研究した上本社に稟申し出來る限り便宜を圖りたいと思つてゐます

▲引下程度

某消息通談

滿鐵鑛業部京城販賣所主任の交迭と共に擬せられつゝある

▲炭價引下問題 傳へられつゝあるが右に付某消息通は曰く吾々の聞く所にては滿鐵は總督府並に京城會議所の炭價引下交涉に快く應ぜざるべし蓋し滿鐵にては現下の狀況より大觀して撫順炭價引下げの餘地なく其の必要を認めずと云ふに一致せるものゝ如し唯撫順炭の如きは殊に將來有望の市場たる朝鮮の官衙や公共團體より頻々の要求並に陳情あるためそこに幾許か引下げを行はずやとの觀測あれど滿洲の地質炭に運賃關稅を課せし價格と略

▲同條に改正 すべしと思ふ如きは大なる誤りにて恐らく仲次販賣店に與へ居る手數料（現在一噸一圓五十錢乃至二圓）を半額に縮め其の縮めしだけ價を引下ぐるに非ずやそれ以上卸し値の値引きをなす共極めて少額なるべく結局朝鮮石炭商人の利得を減ずるに留まらん

◉商議特別評議員

滿鐵京城管理局長久保要藏氏は本月七日附を以つて總督府より京城商業會議所特別評議員に任命せられたり

▲某有力者曰く 右に付某財界有力者は曰く鐵道が官營時代なれば長官を特別評議員とする譯にも行かぬが滿鐵の經營となつてゐる以上商工業に最も密接な關係ある交通機關の首腦者を特別評議員に推すのは當然であらう、殊に鮮滿の關係が愈々密接を加へ來り滿洲との間に交涉を要する事少なからざる今日滿鐵京城駐在理事を特別評議員に擧げる事は非常に必要であり又頗る好い事だと思ふ

◎東清鐵道買收風說

佛國軍事特使の使命

十一日夜浦鹽より敦賀に入港せる露國使節の報告に依れば佛國軍事特使は目下長春よりイルクツク市に到著し居れるが右は東清鐵道買收の使命を帶ぶと傳へらる（敦賀電報）

◎前土耳古帝崩御

前土耳古皇帝アブダルハミットは肺炎にて崩御せり（倫敦電報）

◎革命軍共和建設

羅馬尼革命軍はダニューブ河口に於て新共和國建設の旨を宣布せり（倫敦電報）

◎梁啓超一派陰謀

梁啓超氏の一派は南北の紛爭に乘じ馮總統の位置を顚覆せんと計畫し着々準備進行中なりとの說傳へらる（北京電報）

◎張敬堯漢口に向ふ

張敬堯氏は手兵を率ゐ南征の爲め漢口に向け進發せり（北京電報）

◎米國鐵道技師南行

米國鐵道技師スチーブンス氏十三日朝奉天より安奉線にて內地へ向け出發せり（奉天特電）

◎書記長會議

既報の如く京城商業會議所にては鮮滿聯合會打合せの爲め全鮮商業會議所書記長會議を開會すべく計畫し各地會議所の贊同を求めつゝありしが各地とも異議なく同意したるを以て來る三月十二日京城に於て開會することに決定其の趣各地商業會議所に通牒したりと

◎京管課長異動

滿鐵京城管理局にては二月十二日附を以て左の如く異動ありたり

庶務課長 鷲尾弘準 依願本職を免ず
同 課員 若曾根常五 庶務課長心得を命ず

京城管理局庶務課長鷲尾氏の退社は曾て氏は內地官廳に轉任の心算にて昨年來其の運動をなし殊に齋藤より本年早春に亙り歸省を稱し內地に赴きゐたるは東上の上某要路を訪ひたるものなりとの說あり多分近く任官すべく尙ほ後任の課長心得たる若曾根氏は久しく庶務係主任たる圓滿の人なり

◎釜山支那領事更迭

在釜山支那領事鄭隆昌氏は今回橫濱總領事館へ轉任其の後任として隨習領事錢承啓氏任命されたり

◎市川參謀長視察

駐箚軍參謀長市川少將は高橋大尉を隨へ平壤、新義州、義州の各部隊視察の爲め十三日朝龍山發列車にて北行せるが歸任期は十八日頃なりと

◎三島理事東上

三島鮮銀理事は總會列席のため十四日午前八時四十分南大門驛發列車にて東上す

◎阿部氏出發延期

十三日午後九時四十分南大門驛發列車にて大連に出發の豫定なりし鮮銀滿洲副總支配人は都合により其の出發を兩三日延引する事となりたり

◎土井芳輔氏轉任

滿鐵鑛業部京城販賣所主任土井芳輔氏は今回本店に轉じ滿洲地質炭に關する事務を統ぶる事となりたりと傳ふ十二日夕刻大連通信中氏の京城販賣所主任を罷免しとありたるは退社せしめの意にあらず主任を免じたるの意なり

◎矢野通信課長出發

滿洲出張を命ぜられし矢野通信課長は十三日午前九時五十分南大門驛發列車にて出發したるが安東奉天を經由し大連旅順に至り長春方面に北上すべく三月中旬歸京すべし

◎關屋土木課長歸京

客臘來內地各府縣に於ける水利開墾等の事業を視察中なりし東拓土木課長關屋忠正氏は十二日夜歸京す

◎吉田專務出勤

過日來流行性感冒の爲め引籠靜養中なりし朝鮮郵船專務吉田秀太郎氏は十二日より出社執務せり

◎警察職員異動

二月九日附の發令を以て警察職員に左記の通り異動ありたり

新任地	舊任地	官名	氏名
慶北警務部	新任	警部	橫社仲兵衛
黃海警務部	同	同	川村權次郎
平北警務部	新義州署	同	中山郁之亮
成川署長	光州署長	同	鈴木貢
光州署長	金堤署長	同	二宮恒一
公州署長	平北警務部	同	小林初太郎
金堤署長	公州署長	同	鮫島才助
依願免官	春川署長	同	齋藤金藏

◎鮮銀券發行週報

二月三日より九日までの一週間に於ける鮮銀券發行平均額は六千二百五十二萬七千三百四十圓なりと

大阪だより

▲鐵業製鐵三億 時局以來鐵業會社の新設並に增資著しく殊に昨年の新設資本一億千五百六十五萬圓增資七千二百卅五萬圓合計一億八千七百九十九萬圓に達したるが三年の新設增資千六百六十八萬圓四年四千五百九十七萬圓を合計すれば時局四年間の新設增資は二億七千二百九十九萬圓となり規模の擴大著しきと共に製鐵力も發展の趨勢を齎らし大正三年の民間製鐵額は銑鐵七萬六千噸鋼鐵五萬三千八百噸內外に過ぎざりしが昨年の豫定產額は銑鐵卅四萬八千噸鋼鐵三十五萬七千噸合計六十萬五千噸に上り尙新設會社の製鐵開始と共に大正八年の豫定產額は銑鐵五十六萬八千噸鋼鐵四十九萬八千噸合計百六萬六千噸に達する由にて開戰の三年以來昨年十一月迄の新設製鐵所は製鋼所十九箇所製銑所十一箇所合計三十箇所にて公稱資本一億一千萬圓に達せり

▲毛斯綸市況 毛斯綸相場は春來七十八錢を中心としての一高一低の成行きなりしが濠洲羊毛の輸出禁止を傳へられ南阿羊毛の輸出特許中止を懸念さるゝ所なり八十二錢と高値に進展するに至りしも止は我國を介して露國より獨逸に輸出さるゝなきやを英政府の懸念したる結果に他ならず從來より手續多少複雜となりたれども依然特許を得るものは從來通り輸入を見る事可能なるべきこと其後の外電に依り判明するに至りたる隨つて上向きの成行を招致するに至りたる相場自然軟弱の成行を呈するに至りたるが目先依然として七十六七錢を中心としての上下なるべきかと

▲人肥協定不能 客臘東京に於て人肥聯合會を開催し燐鑛石及び硫化鑛石の騰貴より東京は過燐酸十六パーセント二圓五錢關西は二圓と販賣價格を協定するに至りたるが關西に於ける取引相場は協定價格より二十錢方安値の一圓八十錢にて取引されあるもの多く協定價格を確實に實行すべく同業者何れも堅く誓約し居るに拘らず實行されあるは當地に於ける某社と某社との得意先爭奪戰激烈なる結果競賣を行ふより斯くて協定相場を維持されざるものと云ふべく爲めに他の同業者は非常なる迷惑を受け居れり何れ來る十六日東京にて開催せらるべき人肥全國聯合大會に於て之が違反者に對する制裁案件を決議さるゝに至るべく傳へられつゝあり

▲生命保險不振 生命保險會社の近況は昨年十一二月の好況を逸つて一月は例年不振の例もあり格別の好況もなきが昨年一月と同期の成績にて二三月後の狀況は昨年と同調の見込なるが物價騰貴の爲め月給取の範圍は著しく減少し部長、課長、支店長の如き重役級たるものに限られ又成金は案外に保險に入るもの少く（却つて成金）階級に加入者增加の傾向を示しつゝありと

▲硝子製品停滯 硝子製品は支那向きの洋燈印度向きの小瓶等需要豐富なるも船腹の缺乏と運賃高き爲め採算引合はず一時の好況に比し輸出減退の傾向あり殊に三年前より神戶倉庫に停滯しある輸出品は頗る巨額にして未だ輸出檢査を了せざる粗製品多き爲め之を整理せざれば先約輸出も不可能なるを以て右檢査の上不合格品を整理し輸出方面の發展を圖る一方內地向きは各品相場持合にて目下は需要稍々不振期なりと（大阪支局）

人事消息

▲都田智氏（總督府會計課長） 十三日朝南鮮地方へ出張
▲山口貞昌氏（法務課長） 十三日夜同上
▲岩城信太郎氏（土木局釜山出張所技師） 十二日防波堤調査の爲め馬山へ出張を命ぜらる
▲吉川岩喜氏（平壤鑛業所技師） 十二日附を以て炭礦爆發豫防法研究の爲め內地及び九州帝國大學へ出張を命ぜらる

彼れ此れ

◆汎獨主義を以て、獨逸の鐵血宰相たる、ザイドラーを首相とせる、墺國內閣も、勞働階級の罷業合同戰爭打ち切りの聲に、壓迫せられて、遂に瓦解す。而して其理路の相關する以上、獨逸政界の動搖も亦、免れざるべく、過激首相ヘルトリング男が、掛冠說の出所も、略ぼ窺知するを得べし。外に向つては鬼面人を脅しつゝある獨逸も、內に此の病を抱いては、其の前途も察するに難からざる也。

◆露國廢帝と共に、トボルスクの配所にある、長女オルガ姫は、社會黨員の少年雄辯家と、相思の仲となり、淋しき死の都に、珍しきローマンスの花を咲かせつゝありと。戀は何處にても又別物也。

◆山本唯三郎君、日支外交の一端として、百萬圓を投じ、上海に英字新聞を創立し、橫井時敬君を社長に、神田正雄君を主筆として、其任に當らしむべしと、報ずる者あり。眞僞は知らざるも、好事たるを失はず。

時間表
十一月一日現行

●英國元帥の服裝を 御調製あらせらる

▽緋羅紗地上衣に雪白の洋袴▽

◇金色杖は英皇室から御贈進◇

新年拜賀に際し日英兩國皇帝陛下の間に元帥號の御交換あり我天皇陛下には英國陸軍元帥の班位に叙せられたることは當時報道の如くなるが是と同時に其筋に於ては外國の慣例に基き

▽種々研究 を遂げたる結果天皇陛下の御召用として近く英國陸軍元帥の御服裝を御調製あらせらるゝ目下其服制に就て愼重取調中の趣にて愈々御調製の上は英國皇帝若くは皇族の如き英國貴賓の御來航の場合に御着用相成り其際は特に[illegible]

▽英國皇室 より 天皇陛下に御贈進ありたる鮮麗なるガーター勲章の本綬を我金鵄勲章と同じく眞紅の上衣の上に御左肩より斜に御右腋に御佩用あらせらるゝ筈と承はる

は什麽ものかと云ふと大體に於て上衣は全部燃ゆるやうな緋羅紗、竪襟が一行金釦でその襟を繞つて金モールで月桂樹の

▽花こ葉を 刺繍り、又袖章は袖口に沿うて黒羅紗を巻き竪五寸ばかりの黒羅紗地に金モールで月桂樹の花こ葉を配らつた飾りを其上部に施す、左右の肩章並に右肩より腋に懸垂する二條の飾緒及び金色の飾帶などは略ぼ我

▽陸軍大將 のそれと同樣であるが洋袴は雪白の羅紗地、そして特に黒塗革の長靴を用ひる定めである、帽子は我軍禮帽のやうな黒の船型帽の側面に金モールの裝飾を施しその頂から長さ十吋ばかりなる紅と白の羽毛が總々と覆ひかゝつて居るなど

▽眞に華麗 を極めたものであるが何此外英國元帥の權威の表徴こも謂ふべきスタッフを携へねばならぬ、スタッフと云ふのは頭に王冠を取附けた長さ十五吋ばかりの金色の杖であるが此れだけは多分英國皇室から御贈進になるであらう

▲緋羅地に雪白の洋袴

目も絢な服制

右に就き某當局は語つて曰く『元帥は陸海軍の大將中から特旨を以て下賜せらるゝ最高の稱號で從つて大將の軍服に小鯱形の元帥徽章を佩用するだけで好いのであるが英國の元帥は大將の上に位する

▽一の官職 であるから元帥服にも特殊の制式がある、それ[illegible]

●臺處の過激派の鼻息が荒い

‖奥樣も困つたり、口入屋も上つたり‖

✕花柳界は拂底しらずの上景氣

例年木の芽頭になると山口縣やら九州方面から女中奉公の爲めに渡鮮する女の群が口入屋の手に餘る程集つて來るが内地の景氣が素敵に宜いので昨年以來引續きの大拂底に搗て加へて逆移入が流行するので近來

◇口入屋も上つたり◇ 需要者側も迷惑すれば女中の鼻息が荒くなつて奉公先を選み嫌ひするやうになつたとは時局が産んだ一現象で女中に取つては千載一遇鼻息も強からざるを得ない、奥さんが口八釜敷からとか、お子さんが多いからとか、御主人が手癖が惡いからとか言つて駄々を捏ねてはもの一ヶ月も勤めずに口入屋に逆戻つて來るものが多くなつたが

◇一日も長く勤めさせ◇ やうとしても仲々承知しない需要者側の惱みは一通りでない給金は六七圓から高いのになると八圓、子守女さへ五六圓出さねば御機嫌が惡くそれも大拂底の折から一層難儀である、併も一般の景氣が好い結果藝妓や娼妓は千五百圓から三千圓と言ふ突飛な相場になつても

◇花柳の巷は拂底處◇ ではなく從々盛況を呈し上手な住込んで來る程である從つて口入屋も女中専門の方は不景氣を喞つて居るが藝娼妓の口入れを重にして居る方では手は多い、相場は從前に比して二倍以上になる併し歩合は變らぬので懐が暖かい

一輪梅

旅行が一番好きです

◇金剛山へも此の夏迄り行つて見度いと思ひますが何分い、伜れがありませんと

‖滿鐵京城管理局運輸課長安藤又三郎氏夫人‖

手揉に染め出した渦巻の模樣がグルぐと渦巻いて嬉然がつた樣に思ふを其中からおやかなみつ子夫人の豊頬が白菊の大輪の樣にぽつかりと浮び出て嫣然と微笑んで居る『子供でございますか大勢で十歳を頭に五人も居ります、上二人が學校へ行きますが昨年十二月の始め迄は私共龍山の官舎に居ました關係上子供等も

◇小途で轉校させますのも如何かと存じまして學年の替りまで龍山小學校に續いて通はせて居ります今日から學校も一時間早く始まる事になりましたし汽車も都合よく參らない事もありますので朝は可なり早く出ます』

南大門驛前鐵道官舎、洋風應接間の白堊の壁に銀鈴の樣な夫人の聲は丹花の唇を洩れて優しい反響を起す『昨年の夏は大抵日曜毎に仁川へ海水浴に參りました故でございますか皆の者が大層健康で居ります

◇今年の夏も何でしたら仁川で家を一軒借りて暮し度いと考へて居ります、あの海の空氣を吸ふ丈けでもどんなに愉快でしよう、私は旅行が好きでもう乳香見さへ居ませんでしたらどんぐ旅行させて貰ひ度いと思ふのです金剛山へも此の夏迄り行つて見たいと存じますが何分い、伜れがありませんとね』快活な夫人は若やかな誇りを見せる『鎌倉の

◇長樣方が皆さんお集りで月一回位高田副總裁の老母のお話を聞く事になつて居ります此の間第一回がありましたが未だお集りの方も八九人位ですが追々多くなる事と存じます禪僧のお話とか云ひますと何だか大層六ヶ敷い話の樣に思はれますが極く平易に砕いた話に處世上爲めになる面白いお話でございます』丹の傍に咲いて居るシネラリヤの花が赤く淋んで電燈の灯影に淑ましやかに差し添へて居る。(寫眞右より龍昇、夫人富士子嬢、芳子嬢、友禾君、季子嬢抱いて)

●無條件で百萬圓提供

松昌洋行から政府へ

山本唯三郎氏の松昌洋行にては豫て政府より影島丸(七千噸)を借入れ傭船となし居りしに同船は昨年七月廿日佛國ブレスト沖に於て撃沈の運命に遭ひ致なく異國の海底に葬られたり、政府は豫め船體に對して五十萬圓の保險を附しあり山本氏は其上紐育に於ける諸經費及び萬一に際する船長以下五十人の手當其の他の必要として約百萬圓の保險を設定しあり從つて政府は影島丸沈沒に就て五十萬圓のみを受け山本氏は當然百萬圓を受くべき筈なりしが山本氏は政府が損失により自己を利するを潔しとせず今回右保險金百萬圓をも併せて政府に提供して國家有用の施設に委任し併も精船員手當其他の出金四十餘萬圓は全部自己の損失と諦めたりと(東京)

●雪のために牧牛馬斃死

濟州島に於ては去る十二月下旬より一月下旬に亘り未曾有の降雪ありたる爲め島内放牧の牛馬中牛斃死七十八馬七十三頭及び罹病牛六十八馬四十頭計百八頭の被害ありたれば目下是れが善後策考究中也

●電車脱線す

▲義州通線全不通

十三日午前七時四十五分京城電氣株式會社の義州通行一〇七號電車中學校前を進行中俄然脱線し約二時間後修理復舊運轉は開始せるが線路破損のため當日義州通りは全く不通となれり

●寒稽古終了

諸道館支部にては去る十一日を以て寒稽古を終了し十二日夜八時岡田三段以下十一名に對する皆勤證書授與式を擧行せり猶同支部に於ては日曜祭日を除き毎日午後六時より同九時迄練習すべきにつき入門希望者は右時刻中に道場(憲兵隊司令部道場)に照會ありたしと

記者の手帖から

▽香水代五千圓也

‖李王職は京城三越の大華客‖

館大した村言でもないが去りとて話から驚へ移つて了ふのも惜しい、と云つたやうなものを記者の手帖から拾つて見る、鬼が出るか、蛇が出るか—但し記者には何等の責任もない事を斷つて置く(一記者)

現代婦人のあらゆる虚榮と云ふ虚榮を纏めて其儘店頭に陳べ立て陳べ立て、その中心となつて居る三越が華客の中の大華客として第一番に指を屈するのは久原だそうな▲何んでも去年の年末、三越から久原へ贈つたお歳暮だけでも數十萬圓に達したと云ふから、平素三越がドレ丈久原から贔負になつて居るか略は想像がつく▲眞逆その久原とは比較出來ぬかも知らぬが三越京城支店の大華客は李王職で去年の暮なぞは内殿の御用として舶來の飛切上等と云ふ香水を五千圓分も買上げたと云ふ話▲緋で思ひ出すのは昌徳宮の内殿が炎上した當時のこと、李王職から佛蘭西製の緋帽一打に洋服の附屬品をいろく取揃へて納めたことがある、現品を届けた事は届けたが未だ正式の手續を履まぬ中に例の炎上沙汰が起つたので折角の品物も、デャンと云ふ半鐘の音諸共灰になつて了つた▲聞いたのは三越……イヤ三越はビクともしなかつたらうが、係の店員は青くなつた、手續が濟んで居ないばかりで知られてツキ放されたら何うしやう、さ内々心配して居たが流石に李王職には野暮な人は居られ、ゴタくの跡始末が濟むと同時に其品物代、耳を揃へて拂つて呉れたのでその店員は始めて愁眉を開き李王職の方々を拜んで手を合せて拜んだと云ふ滑稽もある

人の背より高い鯉

‖氷に穿つた穴より銛で突く‖

◇美しい鴨緑江岸龍州の話◇

龍州から約二十里の東方、山奥木頭の南鴨綠江の沿岸を自動車で驅ると約三時間で達する所に清城鎭と云ふ所がある、此處は又頗る景色のよい場所として有名なものである、鴨綠江頭に滴る頃ほひともなれば琴なたる太鼓の音を乘せた遊覽船が遠く京の巷を離れて龍州を訪づれる、夏の清冽な水の流れと、美しい自然とは無限の詩趣に富んでゐるが結氷期中の鴨綠江も

冬の景物としても又捨て難い趣きをなしてゐる、此の結氷した南滿江から龍州名物の鯉が漁れる事は廣く世間に紹介されて居るが最近同地からの書信に依ると今年は二尺餘の厚氷に閉されて寒氣も甚かつた故か鯉の漁獲も多く

◆人の背丈けよりも高い鯉が五六圓で賣買されてゐる程である

さうな漁獲法は氷に穴を穿つて鯉を顯形に操り其上流から大槌をもつて碎けよと許り氷面を打つのであるが其の音響に愕いた鯉は狼狽して網の中に逃げ込む此時從二尺餘の穴を穿つて水中を覗いて居る漁夫が

◆鯉の甚さへ見透かせる程に澄く澄んだ水中に鯉を發見すると直ちに網を引指つて網の面積を狹め穩先一尺柄の長さ二間もある槍をもつて鯉を眼覓けて打込むのであるが具合よい日には長さ五六尺もある大鯉を三四尾位は水揚げするとの事

◆因みに昨今の暖い陽氣のため外もや、明け初めし江上を渡る龍州通ひの自動車も危險を感じつゝある程であるから氷上の運漕は三月上旬頃には終了するであらうと

●沈沒艦船引揚

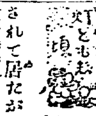
山口縣人石崎儀三郎氏は昨年朝鮮江原道竹邊灣附近にて日露戰爭當時露國バルチック艦隊中の一驅逐艦(千噸)沈沒し居れるを發見し更に全羅南道珍島附近にて三千噸餘の汽船沈沒せるものを發見し之が引上げに關する手續を了し東京の船成金上松某氏と相談を遂げ電氣應用にて不日引上作業を開始する由なるが愈々引上げの上は其地金原價金其一切にて古金として時價百萬圓内外あるべしと云へば沈沒船成金となるべきかと

●古館の火事

十二日午前一時古館(釜山鎭の南)に失火あり消防に努めしも用水缺乏の爲め南く同五時鎭火せしも鮮人家屋一棟三戸全燒せり(釜山特電)

●奇篤なる鮮人

慶尚南道陜川郡の富豪高光駿沈貞澤梁柱元三名は此の陰暦正月に際し附近の貧民救助の爲高は百五十圓沈百圓梁五十圓を出し貧民二百三戸五百二十四人に白米五石八斗四升粟二石九斗現金四十六圓十五錢を又京城忠信洞李容汝氏は鍾路六丁目の貧困者百五十七人に白米二石三斗五升現金八十六圓四十錢を施與したり



▲青木庶務課長、先日の兎狩で腰じて日く、僕は學生時代は支那人支那人と綽名されて居たが▲年取つてからは大分日本人らしくなつたと思ひの外先日平壤へ行つたら何處かの新聞で支那人のやうな課長さんと書いてあつたのですつかり悲觀して了つた▲ありやきつと僕の學生時代の事を知つてる新聞記者が書いたんだらうとの事に▲聞いてる一同ギヤフン昔を知らなければ支那人と謎へまいと思つてる課長も案外己惚れが強い▲そこで同じく課長の曰く連中は大分徹底して居るね▲徹底しなきあ詰らんよサア大いに徹底しやう、處で兎の如きか、ウム湯香でなければ徹底しないぞ▲僕等も徹底しやうぢやないか

立をどうの昔に徹底してゐるから大いに徹底してゐるね、僕等の許しは▲二十分間に三十圓も徹底して居るので今後は徹底課長のニックネームを奉る

讀者文藝(一錢に付十錢)

▲川柳(禿)

[illegible]

●募集規程

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲一等に五十錢寄稿券を呈す▲附資は一

文藝課題及募集規定

●聯絡船上陸客

十二日午前入港新羅丸上陸一二等客一等十一名[illegible]三等客百四十六名外人一名

十二日午後入港さくら丸上陸一二[illegible]

大阪期米

二節中六十三錢より六十錢先八十四節八十四錢五錢四錢二三錢三錢先八十四五錢を拔合ひ四錢止めたり[illegible]二十圓七十錢

仁川米豆取引所

十二日の四月限二十一圓[illegible]

天氣 晴後雲

商況

東京期米特電

兵庫期米

大阪三品特電

大阪株式特電

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

●絹糸布帛騰 各期十圓以上を跳返し現物八九圓方の奔騰にて綿布、龍レー締しも後電で三錢方引十圓三十五錢

●株式低落す 郵船株紡績株 其他一齊低落歩調

●種油落付風情

折柄現物は見角不足を免れず原料著しく拂底

●牛板吏に引弛

●又々十錢方低 掛つて強模樣の厚板

●繰は氣直り 四五圓方を引返せり

●眞綿は産地高

●明太魚不勢 約三四圓方低落せり

●淺草海苔軟弱

●漬物類漸騰 一割五分下落

下關相場

京城正米

南大門の廻穀

仁川正米

高氣配更に

釜山穀物(十二日)

ナ 仲買店

仁川期米

▲十三日前場(强硬)

大阪天候晴天

先二十一圓七十五錢一錢高に寄付

成行に四錢の强硬

▲又復受米行 石二十一圓三十錢に東京上富商店間に賣約成立

三巴仲買店

市場雜觀

田中金兵衛商店 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町

是が身代りの定期に今は正米を賣五千石に上り 一受取米八萬 全部賣却 受米を敢行し更に中 限先限に受取 當限・賣物の一限 一向勤力の思惑賣 大阪へ四萬五千 石今回東京へ三萬 石合計七萬五千 石賣行

仁川米豆取引所仲買人 仲買店 安値買直し 引に外

仁川取引所 十三日の四月限

大阪十三日後場　小安き報にて當二十圓七十錢先二十一圓七十七錢と七錢安に寄りたるも買物多く八十一錢と返し

△先限一節二十一圓七十七錢八錢九錢七錢八錢七錢八錢九錢八十錢一錢二節八十二錢三錢二錢三錢二錢三錢三節八十三錢四錢五錢四錢

戰時の亞米利加（一）

移住者を米國化する偉大な力　廿四箇國の子供を教育する幼稚園

◇滿鐵本社某氏米國觀察談◇

◇私が米國で最も印象深く感じたことは亞米利加人が外國人を亞米利加化することであつた、米人は教育家も政治家も實業家も何れも外國人を米人化し了る偉大なる力を有つてゐる

◇戰前には約百萬の外人が米國へ移住した、而して其の何れも米國化され了つてゐる、私はローサンゼルスで廿四箇國の生徒を一緒に教育してゐる幼稚園の一教師に遭つた、教師は曰ふ『各國人共に長所がある、若しも私がこれ等の子供を皆亞米利加化さむと試みたならば恐らく私の事業は失敗に了るであらう』と

◇しかしながら私は校舍の設備を見るに及んで成程これでは知らず〳〵米國化されずには居られまいと思つた、試みに便所、寢室、應接間といふやうなものを見ると贅澤ではないが何れも模範的の設備があつてそれを見ると如何にすれば愉快に米國式に暮されるかといふことがチャンと實際に示されてゐて誰でも自然とこれに倣はうといふ氣になるには感服した

◇また小學校及び中學の學校では富んだ家から著物を貰つてそれを女生徒に自ら仕立てさせ『あなたの妹さんに著せて御覽なさい』といふ風に教育する、また男生徒には破れた靴を自ら學校で修繕することを教へて居る

◇其の他日本人の通ふ夜學校などでも日本文の募集廣告を出して生徒を勸誘し若し生徒が缺席することがあればすぐ葉書で安否を訊くとかまたは先生が自身で訪問して來るこれでは什麼怠け者でも缺席する譯には行かないといふことであつた

◇その他工場などでも勤務時間中特に英語を教授するところあつて誰れも〳〵協力して米國化することに努めて居るやうである

◇とのはなしは滿鐵本社人事課の大塚氏が奉天の地方事務所で試みたものゝつゞきである

◇米國は私があちらに居た十二年前よりも餘程社會上の改良が興目となつて居る、これもローサンゼルスのはなしであるが同地には卅年來社會改良事業に盡力してゐる特志家があつて且つ町には此の目的の爲めに設けられた協會がある

◇協會の委員は誰れからも提敬せらるゝ人格の人を選び市長が無報酬で任命するのであつて委員は各方面から社會上の改良に努力して居る

◇例へば借家の衛生的設備は奈何、公園は何處に奈何にして設けるか、花柳界や酒屋の制限はどうするかといふやうなことを研究する、それに『母の會』とでも稱すべきものがあつて假りに若い男女の誤つた交際などがあるとすると父兄の知らぬ間に内密でその友人から先方へ通知する、すると會の方でもよく調査した上親切な婦人の委員が暖かい同情を以て諄々と説いて聞かせるといふ風で非常によい成績を擧げて居る

土地拂下に就て

競爭入札の可否

關東都督府が官有土地拂下げ規則を發布したるは既報の如くなるが都督府は近く此の規則に據りて官有地の拂下げを爲すや否や明かならざるも將來官有地を民間に拂下ぐる場合ありとすれば之れを競爭入札に附せんとする計畫なる事は明なり都督府官有地は大連旅順兩市に於ける一小部分を除く全部及び關東州内の民有地を除ける土地なれど該競爭入札拂下規則は主として

▲大連市街地に適用すとして制定せられたるものと見るを得べし大連市は殆ど全部官有地にして市民は特定の契約の下に土地の貸下げを受け居れるが近來大連市の發展急速にして市街豫定地は殆ど全部既に貸下げを終り未貸下げ地に對する貸下げ願ひは土地筆數の七八倍に達し民政署は其の處置に苦しみ新規の貸下願は一切受理せざる方針を執り居れるを以て一方市内の借地權は甚く騰貴を現じ坪五六錢の借地料を納むる借地に有りて單に其の權利の讓渡に坪三十圓より百圓を唱ふるに至り大連市中には

▲多數の借地成金を生ずるに至れり斯くの如く借地權の騰貴は市民の慾望を刺激し土地の借入を一種の營業となすブローカーを生じ此れ等のブローカーは多く曾て民政署の官吏たりし事ある者にて夫れ〳〵縁故を求めて運動し少からざる費用を投じて借入れを爲す等の弊害を釀せり然して借地權所有者は實際に於て其の有價の權利を所有するに拘らず之れを他に

▲擔保として金員の融通を受くる事を得ざるを以て近來市民は土地所有權附與を要求して止まず都督府に於ても相當時期に於て土地所有權附與の承認を爲すべく考案中の處今回其の前提として競爭入札法に由る官有土地拂下げ規則を制定發布せらるゝに至れり官有土地競賣の範圍の如何なる程度なるか猶判明せざるを以て今俄かに之れを論議する事能はざるも之れを一般普通の競賣に附する事となれば其處に弊害百出し土地の兼併となり地價の暴騰を來たし引て家賃と奔騰となり現在に於ても中流以下の生活困難なる大連市をして

▲益々生活難の巷と化せしむるに至るべし殊に近來支那人成金が値を問はず盛んに邦人所有の借地權及び地上權の買收を行ひ居る矢先き萬一一般官有土地の競賣を行ふに至らば之支那人をして要地を占めしめ邦人は彼等に驅逐せらるゝに至るべし思ふに官有土地の競賣は極めて一部分の土地に限られたるものなるべきも極めて不明瞭の態度を以てさなきだに土地に關する一般の神經過敏なる時期に際し風説訛傳を生せしむるが如きは策の得たるものに非ざるべし

花の日本へ

奉天通過の外人觀光團

◇奉天のヤマトホテルは有繁に四月中旬がイの一番に此ごろは冬枯れの態、しかし一昨年昨年の閑散に較べると昨秋から今春へかけての繁昌はおはなしにならずホテルの繁昌はつまり奉天の繁昌且つは支那方面の旅行者が殖えた譯である、戰前は格別、現在日本人の宿り客は主に支那在住の西洋人連ばかり、何分西比利亞から北京、上海、朝鮮にかけての要衝のとてお客さん千客萬來

◇昨今の外人入國取締によつて日本官憲から睨まれた外人も尠くないとの噂、しかし倦厭物騷千萬なのはさて措き毎年陽春の頃の外人觀光團は主に北京方面から日本に向けて過ぎるのが大部分、今年も横濱のトーマス、クックからの註文によれば四月十六日の晩から同十七日までにホテルの客室を十部屋ほどたのむとの手紙

◇これが北京から來る外人觀光團のイの一番であるさうだ、次ぎは四月廿七日から廿八日までの九部屋の註文、人數は確かに分らぬが兎に角米國からが主である、しかし昨今米國では日本行きの花見客を不許可で取締るとのこと、其麼不粹なことを仰せられずとも盛んにドシ〳〵來て欲しい、從來外人の觀光客は先づ横濱に上陸して日本を瞥見、船で長崎からマニラに渡り次いで上海、北京から奉天を訪ふ途順

◇奉天ではお定りの北陵から宮殿を見物して安奉線で朝鮮に出る朝鮮ではまた京城の朝鮮ホテルに滯在の上釜山に向ひそれからゆる〳〵櫻季節の日本を訪ふ筈、此の向きならば今年も觀光客は多からうとの『見込』みなり（奉天）

琿春の大鉛鑛

朝鮮咸鏡北道の豆滿江に近き吉林省琿春にては這回豐富なる大鉛鑛の發見あり最近支那財政部及び吉林省財政廳員の調査の結果鑛質優良なるを確めたれば近く吉林に創立事務所を設け來る三四月頃より採掘すべしと

製粉事業旺盛

本年に於ける精米及び製粉事業の一たび有利なるを認むるや年初春來之れが計畫經營は續々として興起し殆んど擔指に耐へざるの狀態なるが就中精米事業は專ら鮮人側、製粉事業は内地人側に限定され居るもの、如きも一種の現象と云ふべく現に製粉事業の昨大正六年中に在りて新に施設經營されたるは規模の大小を問はず又機械製造の如何を論せず四圍所なりしが又復城内鐘貫里雜貨商美馬增次郎氏は相當規模の下に機械製粉業を起すべく昨今其設計準備中なり製粉事業は時局の今日に於て有利なるは言を須ゐざれど戰後の製粉界は如何の狀態を呈すべきかは未知數なると同時に一面鎭南浦に於て行惱める大規模の朝鮮製粉株式會社創立事業の其後著々進捗の模樣なれば斯く中途にして比較的小規模なる製粉事業簇々計畫し能く永遠に經營持續の採算を得べきかは聊か疑問とせざるを得ざる也

朝鮮での兵役

徵集者は内地に歸らなくとも宜い

徵兵事務條例の施行細則改正に伴ひ朝鮮に在る部隊の兵員を徵集する師團管内即ち第三第四第五第十第十二第十四第十五第十七の各師團管内に本籍を有する者にして朝鮮に於て身體檢査を受けたる者は現役志願をして本人の希望の部隊に編入せらるゝもの及び近衛の步兵或ひは騎兵隊員として採徵せらるゝ者の外は總べて朝鮮に在る部隊の兵員に充てらるゝ事となれるも未だそを熟知せざる者多きが如しと此の主旨は即ち多年朝鮮に居住し氣候風土に慣れたる者及び朝鮮を

▲生活の本據とする目的を以つて全府移住せる者の子弟を援徵して現役年期間内地に出掛けて朝鮮の土地と離隔せしむるは各個人の永住思想に影響する處少なからざるのみならず其他に影響する處少なからざるを以て新に之等の徵兵合格者は之を朝鮮の部隊に編入して土地を離れしめず兵役に服せしむると云ふのに外ならぬ一般徵募者に取ては實に幸福至便と云はざるべからず

大連より

○大阪商船會社の大連長崎間の定期航路は三月限り廢止さるゝ事となつた該航路の中には長崎より大連へ往航の際に群山に寄港する事に成つて居る

○群山は該寄港船に由つて産米を大連に輸出し居たるを以て航路廢止の直接影響を蒙る者は長崎及群山にして大連港には差したる影響を齎らさない

○長崎港及び附近の實業家は長い該航路の廢止は近來漸く發達し來れる長崎の對滿鮮貿易を沮害し肥筑に於ける農産物の販路を失ふ者なりとし非廢止運動を起して居る

○群山に於ても亦該航路の廢止は群山大連間の直接交通を杜絕となし大連及び滿洲奥地に對し産米の輸出に大頓挫を來たす者なりとし同航路廢止に不贊成を唱へ居れり

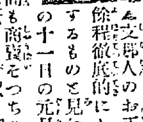
○群山より大連に輸入せらるゝ鮮米は近年著しく增加し大正四年度に在りては六千八百石大正五年度に在りては八千八百石なりしが大正六年度に於ては一萬二千石に及び此等の輸出米の三分の一以上は同航路に由り回漕せられ居たるを以て同航路の廢止は群山港に取りては大なる打擊ならずとせず

○而しながら一方大阪商船側にては該航路は往復航共に積載貨物の僅少なるもの多く運賃昂騰の際に處せる事殆ど稀にして近來の如く船繰り多忙にして運賃昂騰の際に於て不利益なる同航路に永く就航する事は會社として到底忍び得ざる處なりとの事なれば之亦止むを得ざる處なり

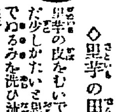
◇近時朝鮮の對滿貿易は日に月に發展し此の勢を適當に助成するに於ては滿洲は朝鮮生産の一大消費地たるべし朝鮮は其の農産林産水産等殆ど同一種類の産物を有する内地市場に於て販路を求め勝なる種の關係を有する滿洲市場の開拓に從事するの甚だ得策なるを思はざるべからず

◇時局終熄と共に大連間の航路廢止にすら斯の如き影響を蒙る事に恐るゝ者に於ては一步を進めて新航路を開き各港と大連とを連絡せしむる事の必要を痛切に感ず其の貿易を促進しては如何

◇近時朝鮮より輸入せらるゝ米、大豆、牛、木材及び雜穀加工、水産、木材等の發達は一面朝鮮産業の發展を外より促す一着を望むものなり



▲支那人のお正月は餘程徹底的にお祝ひするものと見えて此の十一日の元旦から約半箇月間も商賣そつちのけで浮かれ▲奉天から北京に出る京奉線も元日から十九日までは一回ぎりに發車とは面白い▲なぜかと訊けば汽車は走つてもよいが此の間はお客さんが皆目沒有とはこれも面白い▲過激派に懲りたハルビンのホルワット將軍は、そろ〳〵熱さが喉元を過ぎたので東鐵鐵道守備の支那兵が邪魔になつた▲それで昨今は四千人ばかりの露人に武裝せしめて鐵道保護と來たので支那の方ではブツ〳〵言ひ出した▲ずるいことにかけては見たり聞いたり驚き大國人同志の事ぢや大に今一度やり給へ▲昨今奉天では撫順奉天間の電車布設問題がやかましくなつた▲然しお話は結構だが肝腎の電氣の動力が今では不足▲モンド瓦斯の第三期擴張でも了らねばものにならぬ上に奉天の電車はまた城内の布設が行き惱むとのこと



◇里芋の田樂◇

里芋の皮をむいで茹でゝまだ少しかたいと思ふところでぬるみを洗ひ流し、煮汁で三つ四つほど醬油でさつと下煮をなし、串に刺して湯をたゝへた鍋につけ、文火にかけてあたゝめながら、田樂味噌をつけて食べます。其味噌の作り方は、辛味噌を擂鉢でよく擂り、砂糖を少し加へて更によく擂りまぜ、煮汁を注いでほどよくのばし、鍋にうつして文火にかざし、杓子でねり上げ器にとりますが、里芋は乾いた布巾で湯氣をふきとらねば味噌のつきが惡うございます味噌に胡桃か落花生を擂りまぜるも香ばしくなります

（本傳藏、古谷直四、木村圭一郎……佐太郎、加藤捨太郎、久野伊佐吉、杉浦和介……三郎、加藤哲也、河田亀二郎、佐藤勇助、中村……外人一名　計五十七名）

▲下句付「化けたのぢや」　▲宿題「……」　川柳二階一

十六日	十七日	
十七日	十八日	
十八日	十九日	
十九日	二十日	

見逃告者には五十錢書留郵券を呈す●但し何書何號と明記に限る▲宛名は京城日報編輯局者文藝係

▲廣告▼

高價即金買入　相場表は申越次第進呈　釜山草梁第二區　岩井商店　電話壹貳六番

勸業債券

軍隊拂下品專門　◉絨外套（壹圓六拾錢）　鐵道局拂下外套各種　其他防寒襦袢、脚絆、袴下、手袋、靴下、茶褐改造洋服類、作業用足袋、半ズボン　毛布貸しも可仕候　雜貨　メリヤス　洋服地手入用　京城北米倉町　村上商店　電話千百十二番

大阪ゴム製造所　其の他上中下種々有之候　カタログ御申越次第送呈　大阪西區北堀江御池通六丁目二七　電話西一九二四番　振替大阪二七〇〇五番　26 28時の二個あり小包送料實費申受

強胃消化錠　マーゲン　大阪上本町九丁目　賣捌　京城南大門通二　新井藥房

第貳拾參期決算公告

貸借對照表

資産之部

科目	金額
未拂込資本金	貳九〇、〇〇〇、〇〇
諸貸出金	壹、五八七、參壹〇、六貳
他店へ貸	四、壹〇九、〇九
本支店間未達勘定	貳四、貳四貳、七參
有價證券	壹壹、八六〇、〇〇
營業用地所建物及什器	六五、五五七、〇〇
抵當質物流込物件	壹六、〇五〇、〇〇
假拂金	四、參壹八、壹〇
預ケ金及金銀	壹貳四、九六八、七九
合計	貳、〇八八、四壹六、參參

負債之部

科目	金額
資本金	五〇〇、〇〇〇、〇〇
諸積立金	壹九六、五〇〇、〇〇
未拂配當金	四參壹、〇七
諸預金	七壹〇、九八六、八壹
支拂送金為替	貳、七〇八、參〇
借入金	六參八、六八壹、九六
他店ヨリ借	壹八、八五四、參壹
當期利益金	貳〇、貳五參、八八
合計	貳、〇八八、四壹六、參參

利益金勘定

金貳萬貳百五拾參圓八拾八錢　當期純益金及前期繰越金

此配當計算左ノ如シ

金六千五百圓　諸積立金
金五千圓　株主配當金（年四分）
金壹千貳百圓　役員賞與金
金七千五百五拾參圓八拾八錢　後期繰越金

右之通ニ候也

大正七年一月

株式會社　韓一銀行

頭取　子爵　閔泳徽
取締役　趙秉澤
取締役　金漢奎
取締役子爵　李容稙

前記ノ各項調査ヲ遂ゲ其正確ナルヲ保證候也

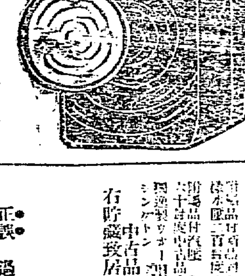
監查役　崔鎭
監查役　沈相翊

佐野義三に告ぐ　急談ある居所知らせ　大阪天王寺　寺西

大阪堂島米穀取引所仲買人　曾我一郎商店

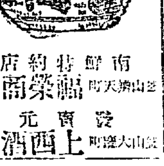
東洋捕鯨株式會社特約販賣店　鯨問屋　香月商店　京城府南米倉町二丁目四八　電話四八四六番

石油蠟燭は危險



手提電燈　大五圓　小四圓　鑛山用　倉庫用　家庭用　京城　熊平支店　電話三二四番　振替京城二二三五番

釜山商店案內



南鮮特約店　福榮商會　釜山辨天町　發賣元　上西酒店　釜山大廳町

洋酒罐詰糖粉卸商　（月刊發行）　釜山　あづま商店　電話長壹五八番　振替京城三九番

雜貨問屋　釜山大廳町　明治屋本店

優美　高尚　穩用　堅牢　オノエたび　朝鮮代理店　各地に販賣店あり　釜山　島田糸店　電話五七八番

長岡商店

生徒募集　本年四月左記各科第一學年ニ入學セシムベキ生徒ヲ募集ス
本校　染織科、應用化學科、窯業科（各科ヲ通シ）朝鮮人……内地人……
土木科、建築科、鑛山科（各科ヲ通シ）朝鮮人……内地人……
工業傳習所　金工科、木工科、織物科（各科ヲ通シ）……
詳細ハ武月九日以後ノ官報又ハ直接本校教務係ニ承合スベシ
大正七年武月　京城工業專門學校

中尾都山著　大譜　春の曙　▲七音　小町　解説　▲打ばん　▲横槌　▲嵯峨の柳　▲若菜　▲青柳　月　春　大阪平野町三丁目　合名會社　前川

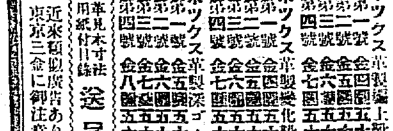
汽罐汽機賣却廣告　汽機　一百二十馬力　壹基　獨逸製汽機新品　三十馬力　壹基　英國製吸入瓦斯發動機　二十馬力　壹基　舶來汽罐　徑三呎八吋　長十四呎　壹基　舶來汽罐　徑二呎六吋　長十五呎　壹基　舶來汽筒　壹基
右貯藏致居候間御希望の御方は特別の御相談に應ず可候也
金物　火藥　朝鮮平壤本町　岩田留楠商店　電話五五二番　電信略語（イワ）

正誤　過般來四回に亘りて掲載せし廣告は右の如く訂正候也

京城西小門町二一番地　田中丸病院　院長　醫學士　田中丸治平　副院長　醫師　上野和夫　電話八五番　［入院隨意］普通病室隔離病室の設備あり

最近市場は目覺しき活氣を呈し來り候折柄正貨は一段の激增を示し相場は近々一大奔騰を演すべき好機運に向ひ候事と存候弊店は平素顧客本位を旨として堅實に取扱ひ來り候は大方諸賢の熟知せらるゝ處にして此際一層努力し定期取引及現物賣買に對し特別御便利に取扱申上候間陸續御用命の程奉希上候
東京株式取引所仲買人　公債株式現物問屋　東京市日本橋區坂本町二一番地（第一銀行前）　細野傳次郎商店　電話浪花（市場專用）……

信用ある東京三金の靴



ボックス革製編上靴　第一號　金五圓五十錢　第二號　金四圓五十錢　第三號　金五圓五十錢　第四號　金七圓五十錢
ボックス革製變化靴　第一號　金五圓五十錢　第二號　金六圓五十錢　第三號　金七圓五十錢　第四號　金七圓五十錢
ボックス革製深ゴム靴　第一號　金五圓五十錢　第二號　金六圓五十錢　第三號　金七圓五十錢　第四號　金八圓五十錢
御見本寸法用紙付目錄　送呈
近來類似廣告あり御註求の際は東京三金に御注意なさい
以上の靴は一均に撰品を最も技術を以て入念に製造せし品にて紳士靴は一般御用に適当な品なり御注文の節は靴型と足の寸法御知らせ下さい
東京市芝區愛宕下町　三金高等靴店　電話芝六九〇番　振替東京七壹壹番

小兒科　內科　診察　自午前八時　至午後九時　岩崎醫院　京城南米倉町（青物市場入）　電話二七六一番

左甚五郎

第百六十七席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

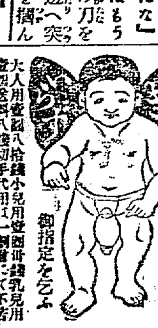
橋本金作の姿を見て足を止めて見て居た侍といふのは川島宇右衛門、坂田定右衛門の妹のおそめに執心をして幸ひ先方が芝居者のことであるから、金を遣つたら手に入るだらうと思ひおそめの許に云ひ寄つて多分の金を遣つた、けれどもおそめが靡かないと云ふのは橋本金作といふ者があつて、末は夫婦と約束をして金作を未来の夫と思つて居りますから川島の心に従ひません、其内に坂田定右衛門が金作おそめ等を伴れて江戸へ出てしまひました、川島宇右衛門は是を聞いて残念に思ひ、偖はおそめの奴に欺されたか、金作さへなかつたら此方の云ふことを肯くであらう、後追懸けて江戸へ參り見當り次第金作を打果してくれやうと云ふ、戀の遺恨といふは恐しいものでございます、川島は始終金作を狙つて居た内に斯ういふ騒ぎになりまして、おそめは死んでしまひ金作は行衛知れず、然し俺迄根強き川島宇右衛門、何處ぞで出會つたら金作を打捨て鬱憤を晴さんものと毎日探して居りましたが、端なくも常盤橋で出會ました故宇右衛門は聲を掛け 宇『其處へ參るは橋本金作ではないか』と云はれて金作は吃驚して 金『斯く姿を窶へて居つたが、役人の目は高い、俺を金作と知つたのか、知られて見れば逃まで』と金作は慄へながら 金『何誰様でございましたか』 宇『オー見忘れたか、誰でも無い其方に遺恨のある川島宇右衛門だ』 金『是は川島様でございましたか、不思議な處でお目にかゝりましたが、何にも私は貴下から怨まれる譯はございません』 宇『無いとは云はせん、能くもおそめを奪取つたな、おそめの爲には身の措き處も無くなつた始末、皆貴様のお蔭だ』 金『是はおそめと私とは兄の坂田の許を受けた夫婦でございます、おそめが貴下へ何と云つたか存じませんが、それは私の知らぬこと、急ぎます故御免下さい』 宇『コレ待て、貴様を遣つてなるものか』と遮つて居る手を投捨て一刀を抜いて斬付けて參ります故金作は驚き 金『是は御無體なことを』と逃げんとするを後方から斬付ける、ハッと其處へ跪いたから刀は橋の欄干へ斬付けた、金作も一生懸命刀持つ手を確と押へ 金『何でも私を殺すと被仰るのか』 宇『知れたことだ』兩人爭つて居りましたが、金作が奪い取らうとする刀の尖が弾みで宇左衛門の咽喉へグサと刺つた、流石の宇左衛門もアッと云ふと其處へ仆れて 宇『貴様俺を突いたな』と立上らうとする時に金作はもう是までと思ひました故、其の刀を取直して宇右衛門の胸元の邊へ突通したから宇右衛門は虚空を摑んで息は絶ゆる、金作はホット一息吐き 金『川島を殺した上は所詮遁れぬ我が命此の上は名乗つて出て潔く死に就かん』と決心いたし若中岡部豐後守正武殿のお屋敷へ目訴いたしました、豐後守が取調べたる所金作は切支丹の信者と云ひ川島宇右衛門を殺した罪によつて死罪と云ふことになりましたが、是を聞いたのが条平内、此時には目附役を勤めて居りましたが、切支丹の信者と聞いて首斬役を願つて出たる處早速のお聞濟み、切支丹信仰の者を懲しの爲めといふので常盤橋に於て死罪といふことになりました、當時切支丹は厳禁でございまして天草の戰亂以來切支丹信者と見ると容赦なく首を刎ました、是までに無い常盤橋で切支丹の信者を死罪に行ふといふのでありますから前代未聞の賑き見物でございます

外科 一般 皮膚科
泌尿器科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院
電話四一九番

牛乳 御用
京城東四軒町
岡野牧場
電話一〇六九番

二月十五日 九星
舊正月五日 癸巳
一白 ……

月やく
……大阪東區東雲町停留所前 いづみ屋

輕便 れ小便袋
●遺尿症、俗に云ふね小便の人は●小供及び乳兒を持てる、母親は●病人、又は老人のある家庭には
必ず本品を備へられよおきたらすわり自由自在にて小便は袋の外へ洩れず蒲團衣類を汚さず又むつきを取替る手數いらず始終のゴム製なれば永久の使用に堪ゆ
一 男女の別あり

御指定を乞ふ
大人用壹圓八拾錢小兒用壹圓卅錢乳兒用壹圓
送料八錢切手代用は一割增にて不苦
東京四谷傳馬町停留場前 中西ゴム商會

ヨクキク!
ひぜん水
本舖 大阪市西區新町通二丁目
田知本和三郎製
各藥店に販賣す 振替大阪二八一八番

演藝案内

有樂館
東京小松商會滿鮮一手代理店 米國ユニヴァーサル會社 ブルーバード映畫
活動寫眞常設館 電話(局上)五七〇〇番
……

天吉
……

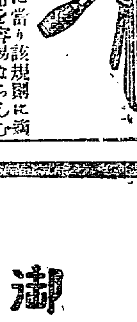
稻荷座
本町五丁目
浪花節身振芝居 市川團之助一座
……前狂言 侠客楠正……切狂言 箱崎文庫……

黄金館
電話二三六三七 二三六六
天然色活動寫眞 ……
〇新派悲劇『陸炎』全四巻
〇泰西社會劇『渦』全五巻
……

壽館
京城本町 電話一〇五〇
當る十三日より向ふ十日間……

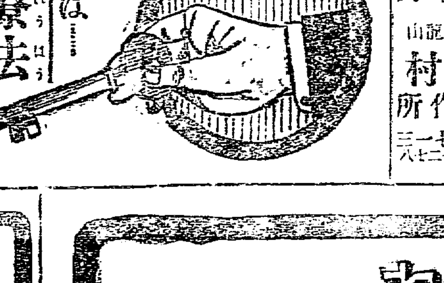
大正館
櫻井町 電話八七三
……〇新派探偵劇『捨小舟』全五巻
〇北米奇談第二『鐵の爪』……
〇舊劇『細川血達磨』全四巻
……

浪花館
明治町二丁目 電話二六〇番
京阪落語若手一座……

ペイン萬年筆
自轉車取締規則により夜中燈火は是非とも車の前方に掲げざるべからず然るに從來のランプは携帯に不便を感ずる事多く爲めに之を怠り處罰せらるゝもの多きは遺憾とする所なり此の時に當り該規則に應じ且つ提燈を携帯するの勞なくして新案の特許を得たる圖の如き優美なる金屬製提燈挿しを販賣す至急御下命を待つ

發賣元 京城太平通(電話三六〇番)
京日代理部
振替京城三〇〇〇番

賛化病院
京城明治町一丁目 電話二四番
内科 小兒科
入院隨意
無料施療す 毎日五名を限り
醫學博士 **古城憲治**
岡山醫學士 **上野亮藏**

内科 胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話一一三七 九二九番

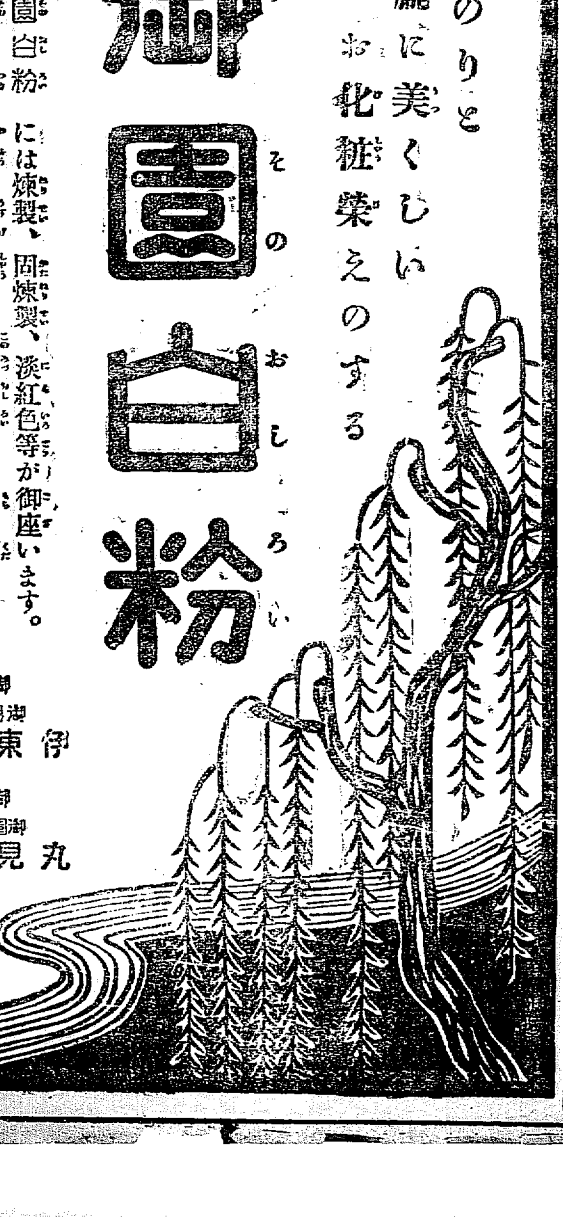
數年難治で當惑する
淋病や梅毒を安全に治す
治療の秘訣は……


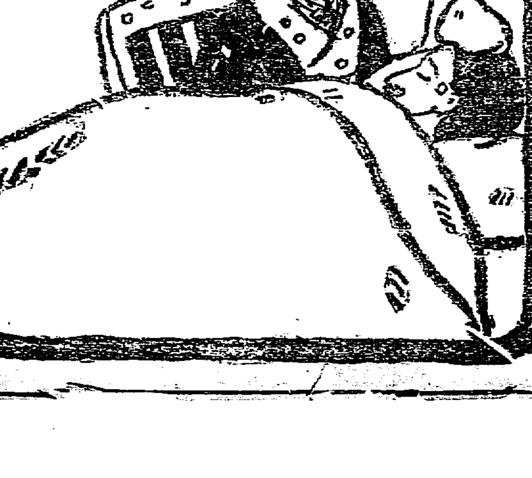
藥化學式應用療法
帝國醫科大學特命製劑の任に當りし赤井先生の考案に成り在來の自宅療法と趣きを異にし効力偉大にして專ら使用上の安全、簡易、經濟を主とせる現代に於ける最善良法なり。
無代で進呈す
ハガキにて梅毒とか淋病とか病名を記し下名へ照會あれ前記の藥化學的療法を丁寧親切に解説せる彩色圖入の書冊を密送す
東京本所向島小梅町二三六
東京藥化學研究所

學校用机・學校用黒板・西洋家具
販賣店 取次 募集
朝鮮總督府御用
櫻印 **松村工作所**
電話 一二八 七一

男の生殖器病

專賣特許 眞空療法器を自宅で簡單秘密に使用せば生殖器發育不完全、包莖、早漏、陰萎、遺精、腦病、眞弱、慢性淋病等は容易に治す二大醫學博士も其實効を證明し實驗諸氏の賞讃湧くが如しハガキで申込あれ非賣品圖入説明書を無代封送す
東京神田かぢ町五 電話神田七二二番
眞空療法研究所
京城來所者には總鑑部にて懇切說明す



かぜ と言つても ハカリ印のヘブリン丸
ねつ と言つても ハカリ印のヘブリン丸
斯く滿天下の賞讃を博せるは全く配劑の巧妙にして藥効の顯著なるに因る
本舖 大阪 合資會社 參天堂藥房


京城日報
第五版
二月十四日朝刊（朝夕刊併せて八頁）

遊支偶錄

今猶古の如し　蘇峰生

四、現時の支那を見よ、春秋戰國と果して何等の差違ある乎、漢末の時代と、何んぞ類似の事多き乎。南北の分裂は、猶ほ秦、楚の對抗の如きにあらざる乎。所謂群雄の割據は、猶ほ三國分立前の形勢にあらざるなき乎。歷史は繰り返すとは、特に支那に於て其の眞理を認むる也。支那の二十四史は、同一の筋書を、各個、各種の役者が、之を演じたる記錄のみ。其の相違は、技藝にありて、根本にあらず。

北方の軍閥派は、何となく秦の政治的系統を、代表するが如く見ゆ。南方の革命派は、何となく楚の思想的遺傳を、繼承するが如く見ゆ。乃ち二十世紀の今日も、一皮剝ぎ來れば、春秋戰國時代の秦、楚の交渉を繰り返しつゝあるにあらずや。固より段祺瑞、段芝貴の如き、北方軍閥派も、其の安徽出身者たるよりすれば、地理に於ては、楚派に屬す可く。南方派の領袖たる、孫洪伊の如きは、直隸人にして、是亦た地理上よりすれば、秦派に屬す可きが如しと雖も。そは時局の廻り合せに於て、斯る除外例を生じたるのみ。乃ち春秋時代に於ても、秦に相たりし百里奚が、猶ほ楚人たりしが如きのみ。

支那南北は統一す可き乎、分裂す可き乎。如何にすれば分裂の勢を變じて、統一するを得可き乎、如何にすれば統一の業を墮りて、分裂に終らしむ可き乎。此の如き問題は、徒らに現在の情勢を揣摩して、臆斷する迄もなく、之を歷史的事實に質さば、恐らくは餘師あらむ。吾人は日本人が、支那を研究せざるを、遺憾とするのみならず、支那人彼自身が、其の研究を閑却するを、嘆惜せずんばあらず。彼等現時の情態は、牛に騎りて、牛を尋ぬる者に類す。

海外銀行の活動と朝鮮銀行（三）
京都帝大に於て　美濃部總裁講演

既に述べたる所に依り海外銀行は單に自己の營利を目的とする一個の金融機關にあらざることを知り得べし即ち是れ所謂海外銀行は何れも本國政府の

△對外經濟政策と相呼應し自國の經濟的勢力の發展を以て其の使命と爲し之と同時に其の營業地に於ける經濟的開發に盡し以て益々彼我經濟の關係を向上發展せしめんとするものなることは特に諸君の留意を乞はざるべからざる所なりとす試に戰前に於て支那に於ける列强角逐の跡を觀るに各國何れも海外銀行の支店を支那に設置すること前述の如く之れをして一面自國商人の業務擴張を援助せしめ以て自國商權の伸張を促すの機關と爲すと共に一面自國の大使又は領事と常に氣脈を通じ兩々相提携して借款の引受等各其圖る所に依り活動しつゝあるは吾人の常に目擊したる所なり而して是れ獨り支那に於て觀る所なるのみならず近來諸國に於て然り南米及び亞弗利加等

△若も歐米列國の勢力相交錯せる半開諸國に於て常に生じつゝある現象なりとす言ふ迄もなく本邦は東洋に於ける一强國として東洋の平和を保全するの責務を擔ふものなり而して東洋諸國の經濟的開發を促進し且其の相互間の經濟的連絡を密にすることは此の責務を完ふするに最も必要なる要件を爲すものにして此の目的を遂行するには海外銀行の活動に俟つ所最も多きに居るは言を俟たず是れ敢て茲に海外銀行に關し呶々する所以なり以上を以て海外銀行の性質及び任務の一斑を略述せり而して朝鮮銀行は我邦に於ける海外銀行の一にして

△如何なる組織を有し又如何なる任務を有するやに付て陳ぶる所あらんとす劈頭に於て一言せる如く朝鮮銀行は明治四十二年十一月韓國銀行の名を以て創立せられたるものにして是れより先韓國の中央銀行は明治三十八年以來第一銀行之に當り同行は韓國總支店を京城に置き市各地に支店出張所を設け一般銀行業務を營むの外銀行券の發行、貨幣整理事務及國庫事務を取扱ひ來りしが朝鮮財界の發達に伴ひ獨立の中央銀行を設くるの必要を生じたる結果遂に韓國銀行の設立を觀るに至れる次第なり而して明治四十三年日韓併合の事あるゝに至り其の名稱を朝鮮銀行と改めたるものなり而して創立當時の朝鮮は百事草創の際に屬し諸般の施設未だ緒に就かず交通の不便産業の不振は之を今日の朝鮮と比較し眞に

△隔世の感あり　此の間に於て當行は鋭意半島金融の調節産業の振興に努め當行の業務は財界の進步と共に漸次順調なる發展を遂ぐるを得たり創立當時朝鮮内に於ける當行の店舖は本店の外十二店を算せしも地方の發達に伴ひ地方銀行或は新設せられ或は擴張せらるゝに從ひ當行は一に中央銀行たるの地位に鑑み努めて此等地方銀行を援助し漸次既設の店舖を閉鎖し該地方銀行をして之に代はらしめたること一再ならざりしも又其間自ら支店を設けたるものあり差引現在に於て猶ほ十二の店舖を存せり。

濟州島民始祖と宗像神社の祭神（上）
渡邊彰

宗像大社宗像神社は福岡縣筑前國宗像郡田島村大島村の地盤に亘り三箇所に鎮座の宮殿を設け其の祭神は古事記を始め國史上顯著なる三柱の女神にてましませり卽（一）は多紀理毘賣命（二）は市杵島比賣命（三）は多岐都比賣命是れなり古事記に依れば多紀理毘賣命は又の御名を奥津島比賣命と稱し奉り胸形の奥津宮にましまし、市杵島比賣命は又の御名を狹依毘賣命と稱し奉り胸形の中津宮にましまし、多岐都比賣命は胸形の邊津宮にましますと由を現はに記し今も鎮座の位置に變りありとは覺えず。

扨て此の三女神は素盞鳴尊の御子にましませば各地を跋渉して國土開發にくしきたうとき御功績をあらはされしは推して知るに難からざる所なれど古代の事を記し傳ふる文獻詳密ならざれば今は個々斷片の記傳を綜ねて彼此考照をなし斯くして次第に的證を覓め其事實を發見するの外なし、宗像神社の祭神が海島又は海邊に鎮座ますことよりして海上生活、海島探險をなされし事も亦推して知るに難からず、此の見地よりして現今の日本海は勿論朝鮮、支那の諸國を周航され遂に濟州島の始祖の御配匹となり玉ひたるものにあらずやと思はるゝ古記の一節を發見するに至れり、蓋し古記として吾人に示す所によれば濟州島は原の初め人物なし三神人地より湧出す、今の鎮山（漢拏山）北麓に穴あり毛興と曰ふ是其の地なり、長は良乙那と曰ひ次は高乙那と曰ひ、三は夫乙那と曰ふ三人荒僻を遊獵し、皮を衣、肉を食す、一日紫泥木函を封じ浮て東海の濱に至るを見、就て之を開けば內に石函あり、一紅帶紫衣の使者隨ひ來る、函を開けば靑衣の處女三及び諸の駒犢五穀の種あり、乃ち曰く我は是れ日本國の使なり吾王此の三女を生みて云く西海中に神子三人を降し將に國を開かむと欲して配匹なし、是に於て臣に命じ三女に侍して來らしむ、宜しく配を作し以て大業を成すべしと使者忽ち雲に乘じて去る、三人歲次を以て分て之を娶り、泉甘く土肥たる處に就て矢を射て地を卜し、良乙那の所居を第一都と曰ひ、高乙那の所居を第二都と曰ひ、夫乙那の所居を第三都と曰ふ、始めて五穀を播き且つ駒犢を牧し日に富庶を就す云々とあり

忘機吟壇

戊午元旦二首　安永春雨
鳳曆頒春廻大鈞。天閶啓曙瑞霞新。南荒耋頌拜松竹。萬國衣冠朝帝宸。擺步出門梅柳迎。鞋聲投刺大雞驟。謳歌莫醉椒花酒。五藏歐洲仍戰塵。葱葱氣象入詩翠。竹靑松園萬家。龍頭騶躍櫪間馬。膽尾誤餘杯裏蛇。茅屋惠風傾柏葉。磁瓶新水插梅花。人生五十歲添五。努力何妨白髮加。
評曰二首沈健工穩、有骨力、有氣概、非徒作也。

牧野圖　渡邊凌雪
富士原頭騰馬群。春光和煦草方薰。嘶聲十里山河響。他日先登孰樹勳。
評曰一氣奔赴、華勢駿逸、

詩以問蒲州立北將軍近況　櫪地寓綱
梅屬欲破歲云過。不識將軍近奈何。憂世心緒身未老。衡天氣勁劍堪磨。靑蒙三秋雲煙滿。詩作千篇珠玉多。評議公除間適足。還尋移步又出坡。
評曰寄懷深遠、用筆自在、可謂完作。

戊午元旦　兒島九皐
金雞報曉彩雲重。綠竹掩門佳氣濃。拍酒三杯献聖壽。援毫先寫御題松。
評曰平穩妥貼、詩句作者本領

どうして
布施生　六十九

國栖も躊躇なく立上つて沈黙のまゝ準備した手紙を手にして戸口に立つと瑠璃子は驚いて又足音輕く引返して國栖の前を通りかゝる。國栖は素速く其手紙を手渡して物は言はぬなと目で知らせながら素知らぬ顏で例のペンキ仕事に取懸ると瑠璃子は急いで其手紙を走讀した。「兄御の外出を選び變衣したる上肩懸を頭より冠りて此の部屋まで來られたし、此處にて上着と肩懸とを脫棄てゝ表の部屋まで擦脫ける事、物は一言も言ふべからず、且つ此の計畫を變更すべからず、父御と兄御とはどの道逮捕を免れず、されど此の通りにし給はゞ父御も兄御も血を流さずに濟むべく御身も亦御名が愛するかの人に面目を失はせずに濟むべし。」讀了ると瑠璃子は其手紙をばらと落して目顏で國栖に哀訴したが國栖は心強く手紙の文句に指を指して頭を振つた。仕方が無いと諦めたものか瑠璃子は悲しげに頭を下げて苦しさを揉掻きながら自分の部屋へ取て返した、國栖は落ちた手紙を拾ひ上げてずた／＼に引破つた。

之で手筈は調つた。國栖は安心して此處へ移つて以來初めて入口の戸を閉ぢた上今迄のペンキ書工の衣服を脫棄てゝ身輕になつた。少時するうち探偵長始め屈強な刑事が二人まで到着して窃と部屋の片隅に隱れる。物音一つさせず靜に運んだから隣部屋に疑惑させずに濟んだ樣子であつた。之で用意は順序よく濟んであとは兄が出て往くのを待つばかりになつた。兄は果して出て往くだらうか、其夜に限つて宅に居ると云ふやうな酔狂はせは無からうか、もしや思寄らぬ疑念でも萌して折角の準備を無駄にする事でもあつたら如何しやう國栖は、大丈夫とは思ひながら心配しい／＼待つてゐると軈て二時にもなつた時分案の定親子の部屋の戸ががらと開いて足音無遠慮に出て往く奴がある、そらと身構する間もなく足音は國栖の部屋の前を過ぎて隣の小部屋の戸を叩き喚し表の間の前では煙草を喫著けなど散々氣を揉ませた揚句どか／＼階段を驅降りて入口を開けると其儘何處へか驅出して往つた樣子であつた。

あとは一時寂然とする、國栖は絶えず耳を緊張した氣分で瑠璃子が忍んで來るのを今か／＼と待つてゐたが待つ間程なく瑠璃子は忍足で自分の部屋を拔けて國栖の部屋の入口で一寸足を留めたかと思ふと著てきた衣裳の上の方を肩懸と共に手際よくふわりと脫棄てると其儘靜かに合圖して物は言はずに表の間へ拔けていつた、國栖は衣服と肩懸とを拾ひ上げると急いで衣服を身に著けて肩懸をすつぽり頭から冠り瑠璃子の姿に化けて了せた上鼻かむ振で手巾を顏にあてゝ大膽にも親子の部屋へ這入りこんだ。部屋の前まで往つてみると戸は半分開放してあつた、國栖は瑠璃子の氣取で靜にそれを押開けてみると眼前に親父が其逞しい身體を横にしてうと／＼して居る姿が見ゆる、國栖はそつと戸を閉めて恐氣もなく傍の椅子に擦寄つたが親父は別段驚きもせず「貴樣までが、ね、騷々しい」と小言を云つた丈で目を開かうともしなかつた。國栖は何も言はず其儘椅子に腰を卸したが親父があの姿勢で戸口を正面にしてゐては突然飛込んで抑付けるのに都合が惡い、國栖はどうかして親父を寢轉させたいと思つて窃に椅子を擦寄せ事有りさうに一生懸命戸外を覗いてゐる風をしてみせたが親父は本來感覺が鈍いのか左程氣にも留めなかつた所でもあつたかそれとも國栖の狂言に氣がつかなかつたか兎に角一向平氣で惡くは眠を貪きさうにもない。其内隣部屋から探偵長始め警官が忍寄る氣配がするうち國栖は氣が氣でない若し覺ると突然街にぱつと火の粂が見えた。

□　不瑱　信樂　如水

[illegible]の膨れしといふ處

おごそかに夜ほのぼのみて山の上の端に[illegible]

□　中村よね子

おごそかにやま端にて[illegible]

手をつきて詫びたるほどにかく程に[illegible]

大正七年申第一七三號
公示催告
慶尙北道漆谷郡倭館面錦南洞
申立人　朴海龍
但[illegible]
右證券ニ付前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニヨリ其所持人ハ大正七年八月三十一日午前九時迄ニ當院ニ權利ヲ屆出テ且證券ヲ提出スヘシ若シ其屆出ヲ爲サヽルトキハ右證券ノ無效ヲ宣言スルコトアルヘシ
大正七年貳月拾貳日
京城地方法院

賜
各宮殿下より御買上の光榮
特製國産　大島紬
御申越次第見本及びカタログ進呈仕候
鹿兒島市泉町
明治屋呉服店
國産部

最新刊

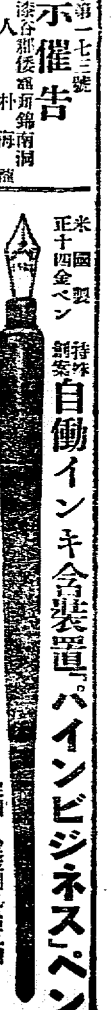
書名	著者	定價
飛行一寸法師	香川鐵藏譯	九〇
ドン底生活	村島歸之	一、二〇
漫畫巡禮記	近藤浩一路	九〇
こほろぎと象	落合太郎	七五
紅葉句集	久保柳葉	一、二〇
高杉東行詩文集	香間信吉	八〇
日蓮主義の爲に	松森靈運傳正	一、三〇
七色珊瑚（完結）	小杉天外	一、三〇
名士の學生時代	河野二郎	六五
教育の米國	吉田熊次	一、三〇
理想の住宅	森田資三	一、五〇
朝鮮の寒さと防寒法	矢野鐵太郎	三五
簡易生活の實例	中村文則	九〇
銀行の實務と會計	田村哲三	一、六五
最近應用化學工業品製造法		一、二〇
袖珍英和辭典	神田乃武、金澤久	八五
改定大納言有法	五十嵐澤竹朝	一、八〇
增訂朝鮮中等學校入學試驗問題答案集		五
增訂朝鮮稅令集	田中吉太郎	七五
最新朝鮮地誌 上	朝鮮及滿洲社	一、五〇

京城本町 大阪屋號

二月十日より
雛人形陳列仕り
京城　三越呉服店

確實　安全　保證
的確なる致富法
勸業債券利用
年四十割以上利殖
●詳細御申込次第進呈す
大阪市北區堂島濱通一丁目
勸業債券信託社
電話一五九〇番

◉朝鮮行貨物特約運送開始御披露
拜啓　嚴寒の砌益々御清榮奉賀候每々格別の御眷顧を蒙り難有厚く御禮申上候弊社儀從來鮮滿移輸入並に滿洲行貨物取扱致居り候處今般鐵道院より朝鮮行貨物特約運賃の承認を蒙け朝鮮行貨物の取扱を二月一日より開始致候に就ては之が特技と經驗を有する從業員並に伸仕を增備し最も著實なる運送を實行すべく奮勉努力機宜に適したる御理想の御取扱可仕候間御後援的御同情を以て續々御出荷被成下度此段御披露旁々御願迄如斯御座候
大正七年二月一日
大阪驛前
株式會社　富島組鐵道部
電話北五五三九八番
通關係　電話長土佐堀七六四番
追て不日社員御地に出張何乎と運輸上の御協議御願申すべく候へ共不取敢紙上を以て御挨拶申上候

米國製　正十四金ペン
特許新案　自働インキ含裝置「パインビジネス」ペン

進歩的經濟的文房具の需要日に加わり平常使用のペン先に金製のものを使用するの最も適切なるは言を俟たず、而して此の金ペン先を裝する軸エボナイト製に到りては唯一なるのみ尙裝置せし「ペン」の背後に密接する
特殊創案の「パインビジネスペン」
先耐久力が斯せらるゝのみならず一度「インキ」を含ますれば宜く數頁の使用に耐ゆる頗る理想的の商文具にして各銀行、會社、官廳より御用命頻々たり
定價　金壹圓九拾五錢
發賣元　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

第四十回帝國議會（東京特電）

衆議院（十三日）

▲本會議 ——十三日夕刊より續く——

▼大津淳一郎氏（憲政）現內閣の成立以來議會を開くこと三回、一回は解散‖二回は臨時議會にして今回の議會を以て其經綸を示すべきに豫算案に表はれたる經濟計畫は抑も何事ぞやと國防計畫の不徹底を繰り返し與黨側の聲なきを喜びつゝ論じ終れば次で

▼中村啓次郎氏（政友）登壇製鐵所鋼片拂下問題を詳述し採木公司拂下問題未だ解決せざる今日又此問題あり前內閣の秕政の諸知るべきのみと憲政會側の罵詈に相酬いて述べ終れば

▼山田珠一氏（憲政）登壇中村君は詭説皮肉を弄して憲政會に罪惡潜める如く極言するも內容として取るべきものは其惡罵を除けば何ものもなきに非ずやとて製鐵所問題に關する決議をなすに反對し斯て岩崎勲氏（政友）討論終結の動議を提出し異議なく採決に入り

第一、早速整爾君の修正案中他と異なるものの憲政會側のみの起立にて否決

第二、早速君と鈴木君と同一なる修正案憲政會及び國民黨の兩派並びに無所屬議員の一部起立にて否決

第三、小川委員長報告と早速君の修正案との同一なる點は‖政友、憲政、新政の三派起立多數にて可決

第四、委員長の報告と鈴木君の修正案との同一なる點は‖政友、國民、新政の三派起立にて可決

第五、小川委員長の報告は全會一致にて可決確定

次で豫告及び希望條件の決議を委員長報告通り可決し午後六時五十分散會せり

貴族院（十三日）

▲本會議

十三日の貴族院は豫算案上程の日とて寺內首相を首め田遞相、岡田文相も病を押して登院、賤席は殆ど空席無く傍聽席も亦多數の傍聽者あり午前十時五分德川議長開會を宣し諸般の報告ありて後議長は蜂須賀侯薨去の報に接せり誠に哀悼の至りに堪へず弔儀當日は議長は本院を代表して會葬したしと諮り異議無く次に日程に入り

男爵園義臣氏請暇の件　異議無く承認

日程第二より第六迄七年度豫算案を一括して議題に供し

▼勝田藏相　登壇衆議院に於ける大體同樣の財政演説を爲し豫算計畫の大綱を證明し衆議院の修正に言及する所あり曰く

然るに衆議院に於て審議の結果增收計畫中租税收入に就き税制整理に關する分に對して其實行を他日に讓るを可とし織物消費税法、砂糖消費税法、自家用醤油税法の改正案、清涼飲料税法案、通行税及び石油消費税の廢止法律案を否決し併せて郵便法中改正法律案を否決せり而して衆議院は大正七年度に於ける財政計畫の骨子たる國防充實の計畫を是認し之に伴ふ增收計畫に就ても其主體たる所得税及酒税の增徵は之を認め唯現行租税制度の整理は主義として之を認むるも相當の時期迄之を延期するを以て適當の措置と爲すと云ふに存し而も既に税制整理の延期を爲す以上相當の餘裕を生ずる可を以て强て通信收入に於て增收を圖らざるも收支適合共の宜きを制するに難からざるを以て增收計畫に何等の支障を生ずるものにあらず加之同院は國防充實に關する財源の補充として既定公債償還額五千萬圓中二千萬圓を大正八年度以降に於て減額するの計畫を認め國防計畫の遂行を遺憾無からしめたる外臨時事件費の財源として戰時利得税の新設を認めたり

右の結果として政府は總豫算に於ける歳入歳出の均衡を保たしむる爲め之に修正を加へ歳入は經常部に於て六億四千二百萬圓、臨時部に於て七千六百餘萬圓合計七億一千九百餘萬圓を計上し歳出にては國庫預備金の增加二百萬圓を削除せり然して衆議院は歳出に於ては二、三の事項に削減を加へたる外時局に伴ひ國運の進展に資すべき産業の發達、敎育の振興等に要する經費其他の歳出全部並に公債計畫等を認めたりとて詳細に亘る演説終るや議長は質問者の劈頭に柳澤伯を喚く

▼柳澤保惠伯　登壇、航空機の不成績に關し當局の所見如何、特殊兵器は自發的新機軸を出しするものありや、國勢調査の期限が本洲八年、臺灣、朝鮮を五年乃至六年とするは長きにあらずや、樺太東洲及び青島の戸口調査は如何と疊みかけての質問に對し

▼大島陸相　飛行術の研究は四十三年創立以來漸次進歩しつゝあり特殊兵器製造に關する要額を要求せるは主として要塞、海岸の大口徑砲の改善に用ゐんとするものにして在來日本式の兵器に改正を加へんとするものなりと答辯し

▼勝田藏相　は國勢調査の費用に就ては地方負擔の百五十萬圓を國庫にて支出すべしとの衆議院の希望に對しては政府も之れを認むると雖も爲めに法律の改正を要するを以て愼重に考慮する必要ありと答へ

▼白仁拓殖局長官　は國勢調査の年限は各地事情を異にする爲を以て年限に多少の長短あるを免れず、政府は臺灣、朝鮮、樺太、の各植民地にて鋭意調査を爲す方針なり

▼木村哲太郎氏　新聞紙の傳ふる處に依れば米國にては輸入禁止を爲すとあるが政府にも通知ありしや

▼本野外相　外務省には未だ電報來らざるも大體同樣の意味の電報來りしも同樣の事情のみの通信にて精細は判明せざるも我が生絲貿易に影響を來す如き程度には至らざる如し若し我が貿易に影響する樣の點あるに至らば相當の施設を爲すべく然からざるは勿論なり但し今の處に於ては未だ其對策を著くるに及ばざるもの、如し

▼服部一三氏　海軍計畫は計上されたる丈けにて此の豫算に對馬海峽及び帝都附近の防禦を守るに十分なりや又農商務大臣は我が國民の主食物たる米の不足を高價の調節に關し如何なる方策ありや

▼加藤海相　當局者としては今回の提案を以て滿足し居らず然し我が財政狀態に鑑み又歐洲戰亂の經驗に徵し補助艦隊急造の必要を認め之が計畫を立てたり尚大正十年度には更に大規模の計畫を爲し議會の協贊を得んとの希望を有し居れり

▼仲小路農相　政府は需用者の爲めに供給を潤かならしめん爲め各種の方法を講じ米の調節を爲さんことを努めたり目下此の物價騰貴に際し暴利を博せんとする巨商に對しては十分取締を爲さゞるべからずと答へ零時十五分休憩に入る（夕刊へ續く）

◎株式形勢良好

[illegible]はる而して前會以降の不勢は大阪にて稍落し此間本口の投物も略一巡き買物の注がれ來るべきか否かは[illegible]てせば目先の相場觀に斷じ能は[illegible]ざる筋もあるべし一方內地の關係も[illegible]に候せば月初以來買込まれたる關係もあれば此月末の接近と同時に[illegible]商値引戻りし買株の停滯が多ければ此邊より徐々處分し來りたるに勢ひ次第により[illegible]迎ふるへく又此形勢大なる問題とはならず依然當局の推移と之れに伴ふ各國の經濟策の[illegible]

▲利付視に對し[illegible]

◎輕鐵定期總會

朝鮮輕便鐵道會社にては十二日午後二時生命保險協會に於て定期總會を開き年六朱の當期利益金處分案を可決し次で監査役の滿期改選を行ひたるが其結果重任に決せり（東京特電）

◎學校組合會議

京城學校組合にては既報の如く十三日午後四時より同組合議室に於て組合會を開催出席議員十四名金谷府尹開會を宣し諸般の報告あり第一號たる「大正六年度京城學校組合歳入出追加豫算の件」を附議す、其の內容は小學校及び高等女學校教員に對し

▲年末臨時手當　として二千四百二十六圓の國庫補助ありたるに據り既に小學校教員に二千三十七圓を又高等女學校教員に三百八十九圓を支給せる事實に對する事後承諾を求むるものなりしが議員側本議案は極めて簡單にして又喜ぶべき事に屬すれば讀會省略原案通り可決を動議し滿場異議なく原案可決、直ちに第二號議案たる「京城學校組合會議員選擧に關する件」を附議す、本議案は現組合會議員たる高木[illegible]氏に關するものにして同人の選擧權並に被選擧權無き事及び組合會議員たる

▲資格の消滅を認定せむとするものにして其の理由は『同人は客年九月以來行衞不明にして其の家族亦內地に歸還すると稱し去せるを以つて事實上京城學校組合區域內に居住せず隨つて組合費を負擔せざれば當然選擧權並に被選擧權を有せざるものにして議員たる資格は茲に消滅するものなり』と言ふに在りしが大垣議員は本案も極めて明かなる事實にして且つ自分等同職に在る組合會議員中より斯くの如きものを出したる事は誠に慚愧に耐へざる所、本員の最も遺憾とする所なりと述べ讀會省略を動議するや

▲滿場異議なく　原案通り可決と決定す。時に四時三十分府尹休憩を宣し京城學校組合年來の問題たる兒童の收容難に關連する組合區域外通學兒童に關し理事者及び議員間に諸種打合せあり、五時半閉會を告ぐ。

◎咸興炭と京城

供給は一箇月三百噸

三井物産京城支店にては今回咸興炭の京城供給を引受くる事となりしが其の供給力等に付き同店次席は曰く

▲咸興炭　は無煙炭多量なるに付撫順炭より炭質は劣るも之れを安州炭に比すれば數等優位にあり價格も京城賣値噸十六七圓にて撫順炭より五六圓方下値なり而して其の炭山に於ける一箇月の採炭能力は現在の設備にて約四千噸の能力を有し居れるも採炭に力を注がず從來は咸興、西湖津間近距離の鐵道の關係上之れを各地に供給するの方法を講じ得ざりしのみにて今回三井にて京城へ供給を引受けたるも炭山より西湖津まで鐵道にて輸送し西湖津より元山までは朝鮮郵船の便を借り元山より京城に引く事となせしが西湖津元山間の鐵路輸送力甚だ乏しく目下の所最善を盡して一箇月三百噸內外を出でざるに付到底京仁地方に於ける炭價を動かす如き事は不可能なり僅かに石炭の不足を補ひ得る程度に留まるのみ尚ほ將來には成興間開通を見ざれば一月千噸以上の供給をなす能はざるべき

▲資力にて經營　を續くる事となり近く新式の設備を加へ採炭の擴張を圖るものゝ如きもその擴張をなすには[illegible]

◎張督軍愈々出兵

先發隊は十二日奉天より出發

形勢觀望中なりし張作霖督軍は今回愈々南征軍出兵に決し第二十七師第五十三旅長[illegible]氏を南征軍總司令とする歩兵一團及び機關銃隊一聯（銃六挺）より成る先發隊は十二日午後より奉天驛より京奉線列車にて出發したり、尚ほ之れと同時に福建省督軍の代理者が奉天に於て新たに募集せる兵若干も前記南征軍と同行せり尚ほ又步騎砲工より成る混成旅團も十三日午後より續々天津に向け出發の豫定なり（奉天特電）

◎陳光遠辭職稟請

陳光遠氏は帝位問題の見込みなきと一は宿痾の胸病重患の故を以て十日附電報を以て辭職を稟請せり（北京特電）

◎山東軍浦項集中

湖南討伐の爲め兵營を進發しつゝある山東軍は浦項に集中しつゝあるが其兵數一萬五千に達したり（北京特電）

◎陸軍要路の任免

二月十一日大總統令を以て王占元を臨時現任湖北督軍に任命し總司令王金鏡を免じ曹錕をして假擬せしめ第二師長に兼任せしめたり（北京特電）

◎不換紙幣濫發影響

奉天東三省官銀號及び奉天興業銀行の濫發せる不換紙幣（匯兌券、債券）は目下開原市場に於る流通高百八十萬元に達し內匯兌券三割債券七割を占め居れりされば滿洲特產物の大市場たる同地の新年に於ける取引は右不換紙幣の影響を免れず或は再び市場の大恐慌を惹起するならんと憂慮されつゝあり（奉天特電）

◎獨立首腦者捕縛

小露西亞及び西比利亞獨立運動首腦者は頻りに過激派政府の手に捕縛され又ドン地方の克薩克人は近來過激派に款を通ずる者尠からず今や過激派政府の基礎漸く堅固ならんとす（長春特電）

◎獨講和締結意嚮切

最初の提議を變更‖讓步的に

過激派機關紙の所報に依れば獨逸は近來自國內の形勢日に〳〵非なるより露西亞に對し最初の提議と全然異なれる讓步を以て講和を締結せんとする意嚮切なりと（長春特電）

◎電信線增架工事

遞信局にては大正六年度豫算に計上せられたる各地電信線の新架工事中京城、新義州間、平壤、馬山、晉州間、城津、會寧、元山、咸興間他二三個所に對する工事は米國注文の電信線不到着の爲め起工延引中の處今回漸く右電線到着したるを以て本月初めより夫々工事に著手の運びに至り近く完成を告ぐるは三月末日の豫定なり而して六年度電信線工事は是を以て全部の終了を告ぐるものなりと

◎咸北の獸疫

大正六年中咸北道に發生せし獸疫は牛疫九頭、炭疽馬五頭牛十二頭、皮鼻疽二頭、狂犬病牛二頭犬八頭、豚虎列剌七十二頭にして牛疫は鏡城郡に、皮鼻疽は茂山郡に、豚虎列剌は茂山郡の各地方に發生し炭疽は鏡城、吉州、城津及び鏡城に、狂犬病は鏡城、茂山、會寧、穩城、慶興の各郡に散發せり咸北道國境鍾城龍溪面に於ける牛疫は發生以來十二頭を斃死或は撲殺せるが其後終熄の模樣なりしに本月二日同面峴山洞に又々二頭發生せり病系統は未詳なるも多分隣洞より傳播せるものなる可く當局にては極力防疫中なり（清津）

人事消息

▲佐藤熙一氏（大阪毎日北京特派員）十三日午後七時五十分南大門驛發內地へ、當分大阪滞在の由

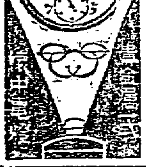
[illegible]

最近莫斯科附近の勞兵會から土耳機斯坦の地方勞兵會に特派した委員が本部への通信に據ると▲土耳機斯坦地方の土人間には食糧が全く盡きて餓死する者が非常に多く鳥獸魚類などは最早全く影も匂ひもない▲草木の葉は勿論木の皮迄も食ひ盡され遂には同地方のサルト人は餓死を免るゝ爲老人小供病人等▲苟くも勞働能力のない者は續々殺害して食しつゝあるとの事▲或村の如きは唯是れ白骨累々たる有樣で實に人類社會の最大悲劇を現出し其の慘狀見るに忍びざるものがあると▲チト御山な樣だが兎に角非常の饑鬼道に陷て居る事は事實らしいそれも大戰の悲慘なる副產物である▲十二日の夜花月で開催された大毎北京特派員の橋崎桂樓君の歡迎會は知名の士が集つて頗る盛であつたが▲南山夜話共論文、一別東西萬重雲、何識漢城花月夕、歌吹聲裡又逢君ともう一句に曰く▲氣節文章兩絕倫、風塵北走身、歸來槿域多少感、半島知名半美人但し九州君とは誰れか當てゝ見給へ

[illegible]

支部長募集

百圓の給與ある文明的新事業[illegible]　東京下谷西町三　帝國教育會



京城本町二丁目　川合時計店　電話二九一八　振替京城一二一九

京日案內　普通一回前金五十錢　番外一回前金一圓

乳母入用　電話九九一番へ　375

古著古服高價買入御報參上　黃金町二丁目電話取次二三三〇番　木村屋

女雇入れたし　年齡二十五歲以上四十歲迄相當教育及料理心掛ある者　仁川　小倉病院　380

車輪板ロクロー　羅木各種板類家具用材　黃金町一丁目　本明雜木店　355

恩給年金即時　月利一二五安三年迄保險不要　京城南大門外　山口屋　電話二六八番　324

礦物定量分析　太平町二丁目朝鮮公論社横小路　坂元分析所　電長二三四四　7.6

社員招聘　業務擴張に付社員採用したし希望者は履歷書携帶來社せられたし　京城黃金町二丁目九六　日清生命保險會社朝鮮支社　379

店員入用　二十歲前後三名　十五歲以上　但內地人に限る小學校卒業　希望者履歷書携帶本人來談あれ　京城南大門通二丁目　378

內地人職工五名　右至急採用したし希望者は履歷書携帶　市內に確實なる保證人あれ　京城岡崎町　京城清凉社　377

法律顧問　實業法律

第九卷第二號　東京市京橋區木挽町　實業法律社　電話長特三七六六番　振替東京一七六六四

生徒募集　東京齒科醫學專門學校

校長　血脇守之助　東京神田三崎町二ノ九　詳細十二月一日各十五日官報　規則要二錢

トンボ萬年筆

(蜻蛉形水筆形)　東京淺草區馬道町　[illegible]製作所

旅行用具一切

朝鮮特產 ワングル製鞄　專賣品 柳製鞄　毛布一枚續 上物各種三圓五十錢以上　東京製鞄各種　防水布マント　魔法瓶及中瓶取替各種　製鞄製造販賣　京城本町一丁目　高木旅行用具店　電話一三四番

月刊　農蠶之研究

只今申込に限り[illegible]　東京本所長崎町　農蠶研究社

眼鏡專門

△當堂特色　レンズ精撰　技術精巧　品位確實　價格低廉　親切勉強

宮川大學堂　京城南大門通二丁目二二番地　電話二九五九番　振替京城壹貳九番　（詳細定價表發行す）（眼鏡製造工場子弟入用）

通俗 鑛山學講義

佐伯順太郎工學士後藤市太郎共編　[illegible]

堀井謄寫版

戰前の價格を固守せるもの獨り堀井謄寫版あるのみ　堀井を冠せるもの斯界の白眉なり　京城南大門通二丁目　堀井謄寫堂京城出張所　電話長四一〇二番　振替京城一〇〇五八番

コールタール

京城電氣會社製　特約販賣　龍山漢江通り八　金物商　島田忠作商店　電話四九番

[illegible]▲相場の一挫折に伴ひて[illegible]も不形勢なる[illegible]は十[illegible]其他も一齊に反撥を演ずるに至り目先又一段と好勢を演ぜんかの成行に、觀附屬材料漸く遲ぎざりしが如し去れば九日の反騰商は約一週間に亙りらんも[illegible]となるべく又買方にとりては[illegible]意を強うせしむるものあり[illegible]る此反動商を動機として引締脫して多少買込まれたる形跡ありし丈けに買込の反動として現て彼の反撥を演じたりとの觀察眼を[illegible]ば概して買方に有利なるを知[illegible]受與の[illegible]合關係より十中八九迄諸株[illegible]騰落の原因を爲し居れる過去の例より見れば大阪筋に對し東京買の傾向[illegible]に濃厚の度を加へ來りつゝあるが之は大阪方面には昨年の側の勝利に歸する譯なるも然らざるに於ては大阪にしてやらるゝ事となる也随つて對局面が相當の如くなるも現今の相場の[illegible]内地の市場のみにて動かし能はざる場合多く勿論仕手の向背如何は[illegible]近接も亦我國に重大なる關係を有せる事も買[illegible]戒を要する一原因[illegible]はるべき株は[illegible]に北市[illegible]を許さるに至るべく然らざる者は依然[illegible]るべく然らざるべし[illegible]

住宅問題

▼斯うすれば凍る心配は無い

◇給水栓を屋内に　京畿道技手　秋田金治氏談

（日水道當局者は何う思ふか日）

水道當局が住宅改良に對する意見を申しても別にありませんが只希望として一言すれば給水栓は出來得る限り室内に設置して貰ひたい、朝鮮に於ける内地人住宅は

✕溫突建を改造

したものや土地狹隘の結果臺所が往々にして虐待されて居つたりして面積及び排水の關係上どうしても給水栓を屋内に引く事は出來ぬ。其の爲めに激烈な寒氣に見舞はれると悉く凍結して頻々たる故障が生じ之が修繕には當局も非常に疲れるの有樣であるが、屋内に設けられてある

✕給水栓の故障

は殆んど稀れだと言つても宜い程である。併し臺所と言つても北向いで日光の射入しない部分にあると外氣との接觸の甚しい粗末な構造であつては日當りのよい戸外にあるものよりも故障が起り易いから出來得べくんば先づ臺所の改良をした上で給水栓の設備をして貰ひたいものである、臺所は

✕硝子窓にして

日光を充分に吸收せしめ、排水口を完全にして蒲水及び藥水の停滯を防ぎ、たゝきにして濕分を減ずるやうにしたならば如何な寒氣が襲來しても斷じて故障が起らぬ叶又は使用者自身も大いに攻究せねばならぬ事だらうと思ふ

に改良を施へる事が肝要である、名前は言はれぬが或る社宅に住む醫者の家から三日にあげず臺所が凍くから檢べて呉れとの電話なので現場に就いて仔細に研究するとフロストにも故障があつたが

✕給水栓の周圍

には卵の黄身や菜大根の片などが堆く棄てられてある上に臺所がじめ〳〵して蚯蚓の營養が充分であつたため非常に繁殖して夜間水氣を傳つて給水管の中に入り込みそれが朝水道を使用する際に流れ出るものと解つて

✕臺所を淸潔に

するやう注意した事があるが要するに衛生上から觀た水道給水栓の位置は乾燥する場所、淸潔な場所を選定するに越した事はない、設計者は此點に注意して從來の不便不都合を除かれたならば宜いと思ふ

◇給水栓は乾燥地を選べ　京畿道技手　樋下田謙治郎氏談

給水栓から糸蚯蚓が出る事が偶なあるが原因は給水管の水を凍らせない爲めに冬期中フロストを開けて置いて一旦給水管に入つた水を排出せしむる裝置にしてあるのだ故障のため乃至は

✕手扱りのため

にフロストが閉いたまゝになつて居ると其處から夜間給水休止中糸蚯蚓が浸入り込んで水と共に流れ出るのであつて、此の蟲の流れる時季は地下の溫度が高くなり濕潤も加はつて繁殖に適する五六月の候が最も甚しいやうである

✕此れが豫防こ

しては乾燥地を選む事が肝要であ[illegible]衛生になり得るやう臺所の構造

♣新居に移つた水禽

新らしく竣成した昌慶苑動物園の水禽室に[illegible]五百坪さいふ素晴らしく大きなもの。瓢簞池のやうな池を中心として木柵を繞らしそれに金網を張つたもので恐らく東洋一の大水禽室であらうと云ふ評判。唯今のところ水禽の種類は至つて少ないが、それでも深山から鶴、雁、鴨、鷲など從來の狹苦しい水禽室から急に廣々した新居に移つたので如何にも嬉しさうに遊んで居る。殊に首の長い鶴子鶴などは四邊の暖かい陽を一杯に浴びてお化粧に餘念もない――[illegible]云ふ水禽は細大漏さず網羅して名實共に立派なものにし度い』とは係の人のおはなし

◉馬賊支人鮮人を拉去す

一月十五日午後十一時平安北道厚昌郡對岸江岸より約一里半長白縣八道溝に於て各自銃器其他兇器を携帶せる馬賊十二名突然に現はれ同地支那人飲食店張某を襲ひ家族全部を殺し金品の提供を迫りたるも張は之に應ぜざりしが賊は同家傭人支那人一名鮮人一名を拉し二十日以内に現金五百圓を調達し同地を距る約五里奥地なる八道溝大陽岔に持參すべし然らざれば拉去者は殺害す可しと云ひ殘し逃走せるより被害者張某は直ちに其趣き八道溝巡警局に訴へしかば同局にては翌日午前八時匪賊討伐の爲局長以下巡警九名を出動せしめたり

◉百八曲の我國の神曲

◇葭を笛に用ひた太古に始り　朝鮮支那からの『渡』を加へ◇

京城神社の神樂は内地に移らしいほどの堂々たるもので三都を除く外他の地方では迚も彼れ程な神樂のものはないといふ。之に就て神社伶人長の談を聞くに

神社の奏樂は我國固有のものが八十八曲あつて之に『渡』と稱するのが二十曲ある。普通は笙、篳篥、笛と太鼓で奏するのであるが、京城神社のは鳳笛（二人）篳篥、龍笛

◇羯鼓、鉦鼓、大太鼓の外に倭琴と稱する大きな琴まで入れるのであるから、斯んな大規模な神樂は三都の外に迚も見ることが出來ぬのである、扨て之を奏する『伶人』の資格といへば先づ三四年練習した上に夫れから先きは際限がない

云ふにそれ者は神部氏に習ひ始めてから何年になるゝやか問へば氏は笑つて『今年五十八歳ですから十七歳の時から習ひ始めて恰度四十一年目である』と答へしには記者は驚かされり

で神樂といふものは神代に於て天照皇太神が天岩戸に隱れられたる時八百萬の神々が樂を奏したる折り既に葭を束ねて笛に用ゐたと傳へらるゝが之れが神樂の濫觴であらう其後朝鮮を經て支那の樂器が色々我朝に輸入されて終に

◇今日の樣な我國特有の崇嚴なる神樂が出來上つたのである、而して曲調は前記の如く全部で百八曲であるが其の内『壹越調』といふのは三味線で云へば本調子で『盤渉調』が二上り『双調』が先づ三下りに當ると思ふ

◉歩兵大隊演習

十五日鷺梁津附近にて

龍山歩兵第七十八聯隊にては十五日漢江沿岸鷺梁津附近に於て二年兵四百名より成る大隊演習を行ふべし

◉大倉喜八郎氏を訴ふ

堺市は大倉組代表者大倉喜八郎氏を相手取り七千二百十九圓九十九錢の損害賠償請求訴訟を大阪地方裁判所に提起せり（大阪特電）

◉全南捕鯨狀況

全羅南道務安郡黒山島を根據とせる東洋捕鯨會社が同島近海に事業を開始せるは大正五年にして大正五年十月より大正六年二月に至るを第一期となし（一期間三十一頭捕獲）目下は第二期にして昨年十月七日より事業開始し捕鯨船第五東郷丸を以て漁撈に從事し十月十八日まで更らに浮游鯨族を認めざりしを以て捕鯨船は一旦對州比多勝に引上げ同年十一月二十九日第五東郷丸（二七噸）及び第一捕鯨丸（三三噸）の二隻入港十二月三十一日漸く一頭の長鬚鯨を獲たりしも其後天候不良にして出動困難の爲め不漁なりしも本年一月に入り十日に一頭を捕獲したるを始めとして二月三日迄に十五頭を獲たると第二期開始以來十六頭を算するに至れり而して本年の鯨は最大六十尺小五十二尺の間にありと

◉元山の一萬圓事件

▽目出度く和解す

昨年十一月來より元山支廳にて審理中なりし蔭濱忠太郎氏對被告筒谷銀二郎、内山好一、三上森四郎氏の沈沒船引揚所有權確認係爭は去る七日第一回の裁判開廷されたり岡本裁判長の外森田、田中兩判事の立會ひ辯論の結果明治三十五年頃日本大東株式會社所有船周丸が通川郡豐二面沖合にて沈沒せる船骸の所有權は今後原告被告の共有物とし持分は原告は百分の五十五被告二人は百分の二十二半宛にて分配する條件を以て原被双方目出度和解する事となれり

◉淑明女學校校舍建築

明治四十年以來十二年餘を經過し朝鮮女子教育界に貢獻少からざる財團法人淑明女學校にては[illegible]校舍の新築中なりしが過日評議員會を開き[illegible]三郎、[illegible]、李貞淑の六[illegible]大正七年度豫算其他の事項を決議[illegible]に於ては學校及附屬土地の經營と共に[illegible]を圖らんが爲に評議を爲し更に[illegible]として第一期計畫たる本館[illegible]一棟及寄宿舍を新築し更らに次年度[illegible]に於て第二期計畫を行する筈なり大正七年度の施設費は[illegible]三千圓を計上し[illegible]に八萬圓餘を要する見込なり[illegible]校舍は目下工學士中[illegible]に於て設計中[illegible]同校の歷史と將來の計畫とに[illegible]山本[illegible]三百氏五千圓、中村精七郎氏二千圓の寄附ありたる由なり

◉高橋武官母堂葬儀

總督府附武官高橋陸軍少將母堂の葬儀は十三日午後二時三十分倭城臺官舍出棺同二時五十分南山本願寺構内に於て神葬式を以て營まれ同四時馬車にて麻浦火葬場へ送柩荼毘に附せられたり當日會葬者は長谷川總督、松川軍司令官を始めとして各部長官朝鮮貴族等數百名なりし

◉黒木氏洋畫展覽會　[illegible]洋畫家黒木氏は[illegible]作品五十餘點を南山町の[illegible]家元子爵[illegible]邸に於て來る十六、十七、十八の三日間展覽一般同好者の來觀を歡迎する由

學校めぐり

私立中央學校

新らしい校舍に在學生が二百餘人

桂洞通りを北へ〳〵と登つてゆくと李王職長官[illegible]々邸を過ぎて一番ドン詰の突當つた處に建てゝホヤ〳〵の

◆赤煉瓦造りが濃城内を瞰下して屹然と聳わてゐる是れは元畿湖學校と云つて今の鍾路小學校の位置にあつたものだが明治四十三年中央學校と改名して花洞官立高普師學校の跡に校舍を移した。しかしあまり振つた方ではなかつた、ところが大正四年今の校長金性洙氏が幾萬の私產を投じて學校全部を引受け桂洞の今の校舍まで立派に新築して殆んど獻身的にやつてゐるので學校は

◆全く面目一新して今は私立としては何處へ出しても少しも恥じくないと褒められる位になつた。今までの卒業生が三百餘人、現在の在學生が二百人あまりで教師は校長金氏を始め皆東京留學生の新進氣鋭な方で誠心誠意を盡して忠實に學生等を指導してゐる。内地人教師も居るが小針重吉と云つて却々の好人物、職員學生間に非常に評判が好い。

◆『俺は重吉といふがその重たるやたとへ重ではない。平重盛の重である。そして吉は太閤秀吉の吉で言はゞ平重盛と太閤秀吉とを一緒にした樣な偉い人だぞ』と云つては學生を笑はせるさうだ。

◉姙婦に生徒が敬禮する昨今の佛國

佛國の人口増加の遲々たる事は世界各國の事實であるが私は在歐時代から佛國の人口統計は餘り過大に發表されては居なかつたかと疑うて居つた今回の戰端の開かるゝやアルゼリヤ兵が直に戰線に送り出されたのを見ても如何に兵を充分に得られなかつたかと云ふ事が解かるゝのである。而も今日にあつては英米の與國にその國境線の多くの部分を依賴せねばならぬ狀態ではないが、さらぬだに從來人口の乏しい佛國は

◇戰爭の爲に

日々多數の人を失うて居るから當局及び識者が人口の增殖と補充とについて肝膽を碎いて居ることは一通りでない併し目今は獨逸も亦此點については佛國と同樣である、されば兩國共姙婦は社會的に非常に尊敬せられ佛國に於ては小學校の生徒すら路上姙婦に遭つた時は帽を脫して敬禮をする。從つて汽車電車等の中で相當の敬意を表せらるゝことは云ふまでもないが現に角兩國共女子をして

◇子を產まし

むる事は國家の急である。されば必要の前には何物をも顧慮せざる獨逸の如きは此の出產の獎勵のために男女間の倫理を破壞し去つたかの如き狀態を打破するに至つた。例へば彼の處女の分娩公認の如き更に又所謂側面結婚の如き實に驚くべきである。のみならず今後は新に一子税なるものが出來たこれは子供が一人しかないものには税を課するといふので勿論一人も子のない者には更に重く課せらるゝ事は云ふまでもない而して

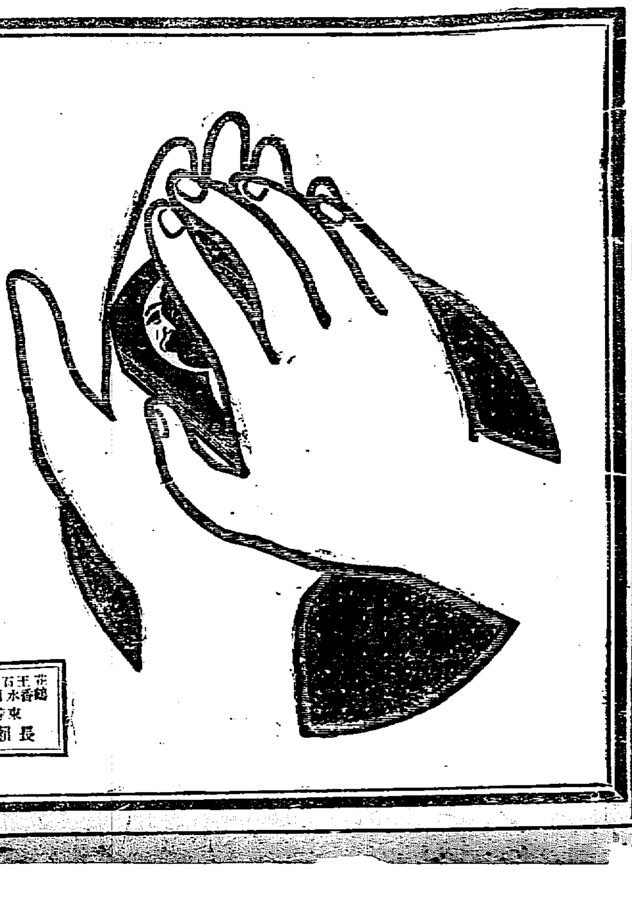
◇一人以上有

る者には國家は之に補助を與へる、既に一人の子を有つてすら何故もつと生ないかと云ふ意味で税を課せられるといふからには一人も子のない者に税を課してゐた時代よりも更に國家に人口增加が急になつたと云ふ事を推知するには充分である、それから又佛國でも姙娠せる女子は社會の尊敬を受けると共に子供を一人持つて居る者には一つ二人持つて居る者には二つと云ふ樣に

◇指環を光ら

して路上に其の光榮を示して居る、丁度男子の勳章と異らないやうに――然し之は教會に於て與へらるゝのである尙私が伯林に居つた時分には市中に五十四の公設分娩所があつた即ち姙娠した者は此處で何等の心配もなく分娩させて呉れるのであるが、彼の處女で御座れ後家で御座れ女一切の分娩を奬勵して居る今日の狀態では右の公設分娩所も嘸かし多忙であらうと思ふ（某歸朝者談）

舊正月は朝鮮側でも大分廢たれて行くやうだ▲唯婦人にだけ舊暦と云ふことが深く頭に泌み込んで居るので亭主との間に意見の衝突を免れぬものも澤山あるやうである▲朝鮮側の正月の行事に内地と一寸變つて居ることがある▲内地だと喪中の人の處には遠慮して年頭の廻禮を廢するのであるが朝鮮では外の人は訪なくても喪中の人だけは是非訪ねばならぬ▲若し親友の間柄で喪中の人を訪ねなければ絶交されても仕方がない▲それから拂曉に祖先の靈を祭るの風がある▲雲養先生子爵金允植氏は今年八十三歳の高齡であるが▲まだ中々矍鑠たるもので讀書三昧に耽つてござる▲そして五號活字の新聞を眼鏡掛けず閲讀して居ると云ふ元氣である



掌中の珠と愛でられて

日常の化粧衛生に缺くべからざる、純良無比の――

品質本位

花王石鹸

花王石鹸本舗　製造元　東京馬喰町　長瀨商會
花王石鹸朝鮮販賣代理店　大阪安土町　大崎組商會

神經衰弱　特効

ユーキリン

榮養ヲ増進シ神經衰耗ヲ補フヲ以テ神經衰弱、陰萎、榮養不良、結核諸症、腺病、重病恢復期ニ適ス

錠劑二百五十錠入金一圓五十錢
散劑百瓦入金一圓八十錢

本品ハ帝國大學教授本邦蛋白化學ノ泰斗タル鈴木博士ノ創製ニ係ル吸收性同化性ノ理想的有機性燐劑ナリ

説明書進呈ス　各地有名藥店ニテ販賣ス

東京室町　三共株式會社

質　大正五年三月開業
田村質店
黄金町二丁目　長谷川町
電話一九一六番
商品擔保便利取扱

亡母愛子葬儀の際は態々御會葬被成下厚く御禮申述候混雜中尊名伺洩も可有之以紙上如斯候
大正七年二月十三日
高橋綾次郎

櫻御殿

第百五十回　大阪　霞の家主人

寒月（七）

『や』と利右衛門は彈かれたやうに云ふ

『おゝ』と桐島は目を瞬る

暫くは双方が無言であつた

助左衛門は心付くさまも無く、五六間も後れて來かゝる

利右衛門は突嗟の間に『何であらうと、娘を助け遣らねばならない』と決心した、うしろを向いて

『此へお越しなさるに及ばん、何でも無い〳〵普通の參詣人ぢや』

斯う云つて、踏み出しかけた歩を返した、桐島は心に思ふ

『お父さまにはお同伴がある、然し、好い處、理をお話し申したら、きつとお力になつて下さるに相違ない』と考へ付いて立ち上つた

利右衛門は背後を見せて、歩早やに行きかける

『お父さま〳〵』

桐島は呼び掛けたが、昨日からの苦勞、且は餘りの驚きに聲が微れて、平生のやうには響かなかつた

『や』と助左衛門は一たん街道へ向けかけた足を返して『誰やら呼んだでないか』

『なにさ』と利右衛門は熱湯を呑まされるやうな苦しさを感じながら『村の小供が遊んで居るのでござらう』

『小供などは居ないでないか』

『お構ひなく街道へお出なされ、通人が掛つては難儀でござる』

『こゝは紀州領、大阪の手は屆かぬと、今お手前が云ふたでないか』

『然し、用心に如くはない、まづ街道へお出召されい』

桐島は、父が自分の顔を見ると恐い物にでも會つた如く驚いて、歩早に逃げかけたのを不審した

『もしや、わたしをお捨て遊ばすお心ではあるまいか』

遂には斯うした擬みも出て、悲しさに胸も張り裂けるやうであつた

『お父さま、お父さま、お父さま』

詰けさきに呼び掛ける、利右衛門は耳を塞いだが、あはれ助左衛門の注意深い耳は開いて居た

『これさ、誰やら呼ぶでないか、小供では無い彼の女ぢや』

『女などに呼ばれる理はない、定めて狂人でがな、捨て〳〵置き召され』

桐島も父の樣子が恐しいので、近く追ひ掛けて縋り付かうとする勇氣も無く、元の處に立つたまゝで

『お詫がございます、一寸お待ち遊ばしまして』と遠慮勝に云つたから

『利右衛門は振り向いて目配したに惡意は無い』と叱るやうに云ふ

助左衛門は瞬きもせず見詰める

『さ、參らう、狂人に出會つて、外の外手間を取つた』

助左衛門は鳥居前に立つたまゝ動かなかつた

『狂人とて不便ぢや、樣子を見や』

『いや〳〵、素性も知れぬ村の女に言葉を掛けて何にならう、橋本へ參らう、急いで參らう』

不斷心になつて云ふ、桐島は何う考へても合點が行かない、夢ではないかと思ふやうに目を瞬つた

助左衛門は、利右衛門の面と、桐島の樣子とを見比べて、その相に橫はる秘密を見やうとする如く立つて居た。

歸へるぬしより木村屋パンの京城土産が待ちかねる　(京城明治町 電二八七〇)

早春篇　（五の日十の日會）

浮碧樓

園の水鳥ガア〳〵鳴き子を歩む

動物園にペンキを塗らず早春の曇日

布團にてつく〴〵外の足音をにくみ

すでに多くの風抑ぐわが手の風

わがみ布團にて日曜の朝をむさぼる

女物干にのぼりはれ〳〵する殘雪

茶の間へすぐと入る冬朝き深く

夫婦の話をきく夫婦で來て火燵前

華虹

日南に足なげ出し顔剃らねばならぬ

二階の夫婦をそく起き出で桃

ぶつ切られた青桐の烈しき芽や

句平

蒼空仰げば日南のシャボテン

烏堂

双六の賽のゴミ掃かれたる朝

木の芽の町外れが二階に輝き

南の蜆つや〳〵しく盛りにけり

疲れ切つて眼前の草萌ゆるなり

湯婆心地に入り話聞いてゐる

愁擱へる雨下駄はいてしけり

蹴鞠が咲き母は我子伴れたく

日報俳壇

故郷より京城まで　山縣瓜青

周防山口出發

我が足の足袋見詰めつ別辭聞きにけり

下關水邊亭に馬知と酌む

林檎にもつるる月や鳴く千鳥

門司渡し

下駄の土船よごれ居り蚤千鳥

長州線沿道

鴉ぬれて質據に居りぬ冬の雨

峠宅

人形遣る衣縫ふ妹に鳴く千鳥

氏神參拜

鼓り袋に戴く砂や寒雀

我家出發

母と弟の碑字譜ず發つ旅寒し

關釜連絡船にて

寒雁の月掠む空を仰ぎ見つ

船搖れて冬夜の鏡我に照る

汽笛ふる岩紅や朝千鳥

釜山入港

島山の搖れおさまりつ鳴く千鳥

時化な來て耳なほ鳴るや浮寢鳥

上陸 京釜線沿道

多木影懐しく踏みて暫し在り

垣の四角に剪まれ多日風

毛皮著て物買るヨボや夕日影

凍て田立ちし群鳥月に擴がれり

水涸れや引越せる熊の家四九戸

わづかの田水みな凍り居り鴨の群

窓硝子に我が息凍てぬ冬の月

京城著

栗燒き釜の湯氣拔き消ゆ窓ツ風

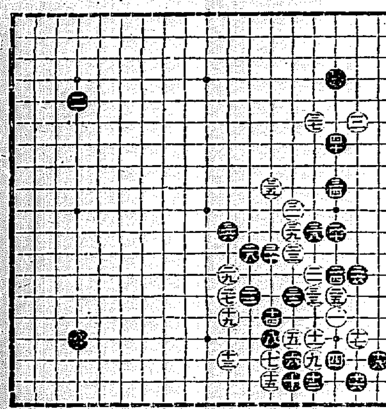
凍る夜のチゲ賃をヨボねだる

碁戰

十番碁第六局（二）

三段　山平壽氏　二子　大久保雅彥氏

○二一　ホの十三
●二二　チの十四
○二三　ヘの十二
●二四　ニの十三
○二五　ニの十四
●二六　ヘの十三
○二七　リの十四
●二八　チの十二
○二九　リの十三
●三〇　トの十二
○三一　ヘの十
●三二　ヘの十四
○三三　ホの十四
●三四　ニの九
○三五　トの九
●三六　リの十一
○三七　ホの六
●三八　ホの十一
○三九　ヘの十一
●四〇　ニの七



讀者の領分

▲そば屋が値上げをしたので小笊を沢山喰ふ客が尠くなつたとて蕎麥屋の女中で（同情生）

▲近頃の酒屋の酢には閑口させられる生酢を賣つてる家からさへ矢張り酸の酢だもの（閑口生）

▲京城市民は何時も不足勝ちな水道を御忘れになりましたか冬に於てさへ斷水、夏になつたら本年は斷水だらけであらう、火事斷水に恐しい市民は出來得る限り盥を大きくして水道の増水を望まうではありませんか（取越苦勞生）

▲小生は活動寫眞好きで毎週に各館が替るたびに見に行く者なるが正月以來各館共三等十五錢に値上をしたるは物價騰貴の時とは言ひながら勝手過ぎはせぬか之ればかりでは無く某館の如きは座布團を買はない客にはお茶子がツン〳〵してゐるのは怪しからぬ（愛活生）

▲和泉町の『愛讀者』に謝す今お氣附の點何卒御注意被下度候御差支無くば御住所御一報を乞ふ（編輯局）

皮膚科　皮膚病 黴毒 淋病 膀胱病 生殖器 機能障碍
京城明治町二丁目　佐藤醫院（電話一一三七番）
入院隨意（診察夜九時迄）日曜祭日午後二時迄

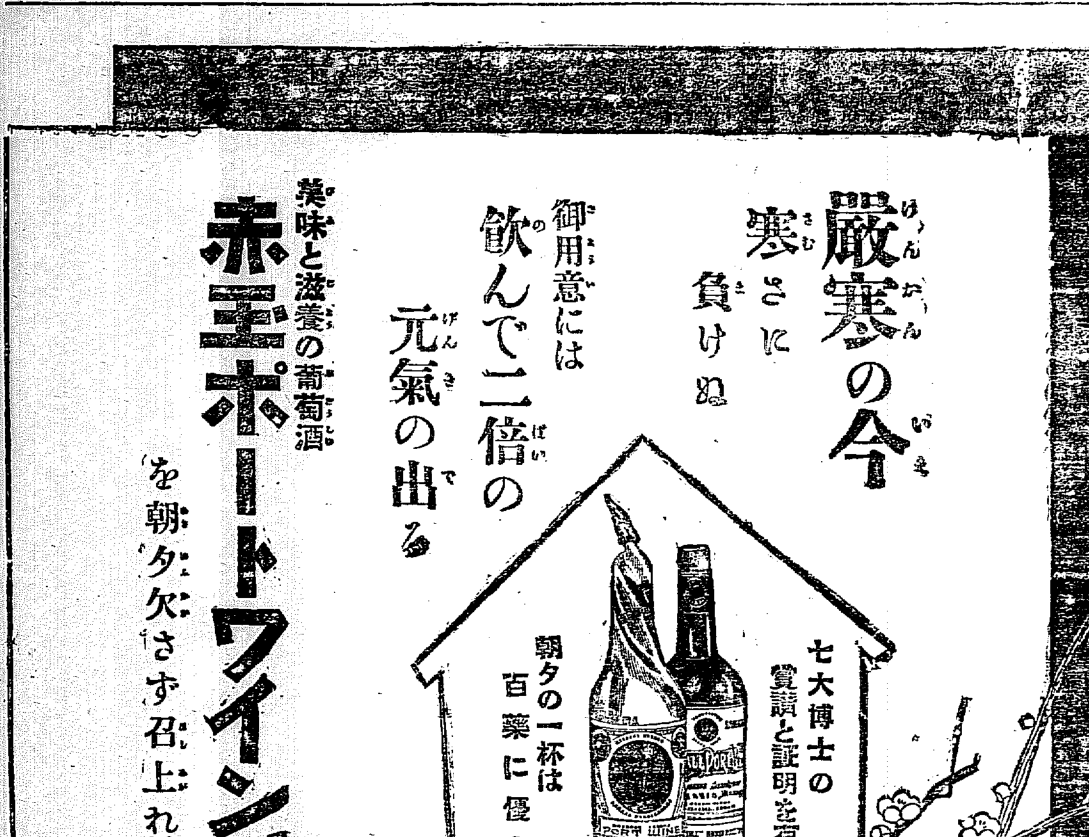
風邪 大流行　此際ゼヒ！守妙をお服用下さい
かぜと婦人冷込にヨクキク　守妙（守田の妙振出し）
今が最も危險！
▼ゾッと寒けを感じた時
▼急に烈しく發熱する時
▼氣分悪しく頭痛する時
▼嚔の出た時、咳の出た時
▼婦人の冷込より起る諸病
何となく風邪の心地する時は餘病に變ぜぬうち急いで守妙を服むのが一番安全です。
風藥の撰び方　洋藥で出來た他の丸藥散藥は兎角中毒を起し易いのですが、振出し藥の守妙ばかりはいくら服んでも少しも害にはなりませぬ
（定價）試用一貼金五錢　二貼金十錢　徳用（五貼金廿五錢　十貼金五十錢／廿貼金金四十錢　六十貼金貳圓）
各地藥店ニテ販賣ス
東京市下谷區池之端仲町廿七　賣藥（世）丹本舖　守田治兵衛　振替東京二九八五　電話下谷四五三九番

瀨戸外科皮膚科醫院　京城旭町二丁目（電話二四九八番）（診察夜九時迄）醫學士 瀨戸潔

優等清酒　一鶴
永樂町二丁目　發賣元　本莊酒店　電話六五四番　振替京城六二〇番

株式會社百三十銀行京城支店　京城本町壹丁目
資本金壹千萬圓　頭取 安田善三郎
電話長五八番　振替貯金京城一九三四番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地有之候

眼科專門　京城若草町　金井眼科醫院（電一五五六）
新築落成　入院隨意　日曜祭日午前中



百圓進呈
りん病　ばいい毒
帝國醫科大學病院
りん病薬王薬は治癒劑とし梅毒薬王薬は驅梅内服薬とし医薬學上最有効と鑑定ーあるを保證す若し前記の病者にて苦痛を脱せる高等薬を言ひ違へる事を證見せる時は百圓進呈
▽あらゆる治療をうすも効なき患者に一度試られ
にせ物に注意　東京其他各地にニセトラックあり
大阪有田　販賣を買ふる
京城南大門外停車場通　大阪トラッグ商會朝鮮本部
京城黃金町三丁目　大阪トラッグ商會
釜山大廳町二丁目　大阪トラッグ商會
元山本町三丁目　大阪トラッグ商會
他の薬店に販賣を不許
詳細は本月一日の本紙を御覽
京城南大門外停車場通　大阪トラッグ商會

寫眞

尼崎汽船 釜山出帆
下ノ關大阪行　秀吉丸　二月十五日後四時出
群山木浦釜山下ノ關神戸大阪行　大有丸　二月十九日後四時出
君代丸　二月二十日後四時出
神代丸　二月十四日後四時出
釜山代理店 杉 [illegible] 部

共同汽船 仁川出帆
之罘、大連行　共同丸　二月十九日午後入港　二月十七日後十時出
仁川代理店　野口商會（電話一一七三番）
元山代理店　[illegible]
京城代理店　[illegible]

釜山出帆 大池回漕店
和歌浦丸　門司、神戸、大阪行　一月 日後九時出
立神丸　二月 日後九時出
元山丸　清津、浦鹽行　二月 日後十時出
和歌浦丸　二月 日後四時出
立神丸　二月十一日後四時出
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天昇丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日午後十時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三琴平丸　二月廿二日後六時出
門司、宇品、神戸、大阪行　第三琴平丸　二月 日後六時出

大阪商船株式會社汽船出帆廣告 仁川出帆
大阪行（經由釜山、門司）大連丸　二月十四日　午後二時出帆
鎭南浦　須磨丸　二月廿六日
安東丸　二月十六日　前十時出行
大連行　信濃川丸　二月廿七日　後二時出
安東丸　二月十三日　正午出
元山出帆
西湖津、新浦、城津行　安平丸　二月二十日　後十二時出
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行　安平丸　二月十九日　後九時出
上海、芝罘行　湖北丸　二月廿八日　前六時出
南洋行　毎月一回
北米行　毎月一回
濠洲行　毎月一回
孟買行　毎月一回
南米行　毎月一回
大阪商船株式會社仁川支店
京城切符發賣所

朝鮮郵船 出帆
○元山より北鮮各地經由雄基行
穩城丸　二月 日
鏡城丸　一月 日
京城丸　一月 日
忠清丸　一月 日
高麗丸　二月九日　元山發
×京畿丸　二月 日
成鏡丸　一月 日
第二高運丸　二月九日　釜山發
○大阪行（釜山門司經由）平壤丸　一月 日　釜山發
○元山ヨリ釜山關門行　京畿丸　二月 日　第二高運丸　二月十六日　元山發
○元山ヨリ江原道寄港釜山關門行　咸鏡丸　一月 日　忠清丸　一月 日　元山發
○濟州島行　盛德丸　一月 日　釜山發
○浦項行（長生浦方魚津甘浦九龍浦經由）江陵丸　毎日　釜山發
○濟州島行　昌平丸　一月 日　釜山發
○濟州島行（西廻ハ巨文島經由）東廻丸　西廻丸　一月 日　木浦發
○釜山、巨濟、統營　巨濟丸　毎日　釜山發
○木浦ヨリ多島海各島行　順天丸　二月 日　南陽丸　木浦發
○仁川ヨリ鎭南浦行　慶興丸　二月 日　木浦發
○仁川木浦行　晋州丸　一月 日　仁川發
○濟州島行　全州丸　毎日　仁川發
○木浦群山江景行　南陽丸休航　三十一日ハ休航
○其他結氷ノ爲メ休航行ノ事アリ　江原丸　一月 日　仁川發
○浦汐行（大阪神戸門司より）咸平丸　一月 日　元山發　釜山發
釜山支店　元山出張所　仁川支店　木浦代理店